

令和 8 年度

全国学力・学習状況調査

－ 結果の概要 －

令和 8 年 1 0 月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の対象	1
3	調査の内容	1
	（１）教科に関する調査	
	（２）質問調査	
4	調査の方式	1
5	調査日	1
6	調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数	1
	[本書における留意事項]	2

II 調査の結果

1	都道府県別ノート	4
2	教科に関する調査の結果	7
	（１）各教科の状況	8
	《小学校第6学年 国語》	
	《小学校第6学年 算数》	
	《中学校第3学年 国語》	
	《中学校第3学年 数学》	
	《中学校第3学年 英語》	
	（２）学校の分布状況	3 0
	（３）平均正答率の全国との差の変動	3 2
3	質問調査の結果	3 4
	（１）児童生徒質問調査	3 4
	（２）学校質問調査	4 7

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・ 小学校第 6 学年、義務教育学校前期課程第 6 学年、特別支援学校小学部第 6 学年
- ・ 中学校第 3 学年、義務教育学校後期課程第 3 学年、特別支援学校中学部第 3 学年

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

国語 算数・数学 英語	① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
-------------------	--

(2) 質問調査

児童生徒質問	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
学校質問	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査の方式

悉皆調査

5 調査日

令和 8 年 4 月 23 日（木）

※中学校英語及び質問調査については、オンライン方式のため、学校ごとに分散して実施

6 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数（義務教育学校、特別支援学校を含む）

区分	小学校第 6 学年	中学校第 3 学年
学校数	188 校	84 校
児童生徒数	8,214 人	8,358 人

1 語句について

語 句	説 明
平 均 正 答 数	児童生徒の正答数の平均。
平 均 正 答 率	平均正答数を百分率で表示。
標 準 偏 差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。
パーセンタイル	データ全体を小さい順に並べたときに、ある値が下から数えて何%の位置に相当するかを表す数値。
I R T	項目反応理論。児童生徒の正答・誤答が、問題の特性によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。異なる問題から構成される試験・調査の結果を同じものさしで比較できる。
I R Tスコア	I R Tに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。
I R Tバンド	I R Tスコアを1～5の5段階に区切ったもので、平均バンドは3、最も高いバンドは5となる。
問題の難易度	5段階で表示し、非公開問題も含めた正誤状況に基づいて分析し、事後的に付与したもの。例えば、難易度3の問題はI R Tバンド3の児童生徒がおおよそ（約8割の確率で）正答できると推定される。

2 数値について

○平均正答率等の数値については、国・県ともに公立学校の結果から算出した数値を記載している（国立・私立を含まない）。

3 到達状況の表記について

○平均正答率の比較については、国や県の平均正答率との差が、±5%以上（以下）は上回る（下回る）、±2%以上（以下）～±5%未満はやや上回る（やや下回る）、±2%未満は同程度と表記した。

○国が公表した過去の調査結果を参考にして、正答率の状況により、児童生徒の到達状況を下表のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号、用語
90%以上の場合	◎：良好である
80%以上～90%未満の場合	○：概ね良好である
70%以上～80%未満の場合	◇：基準に到達している
60%以上～70%未満の場合	▽：十分とはいえない
60%未満の場合	▼：不十分である

4 調査結果の解釈等について

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が特定の教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

本調査の結果においては、教科ごとの平均正答率の数値、または平均 I R T スコアを示しているが、これらと分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析、評価する必要がある。

また、本調査結果の活用については、個々の問題や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

5 調査結果の算出方法について

平成 29 年度から文部科学省は、全国の平均正答率を小数第一位までの小数値、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料における調査結果については、文部科学省から公表された数値を使用している。ただし、Ⅱ 2 (3)「平均正答率の全国との差の変動」の資料作成に当たっては、文部科学省から公表された全国の平均正答率を小数第一位で四捨五入した整数値とし、本県の整数値の平均正答率と比較する本県独自の算出を行っている。そのため、精緻な数値での状況と異なる場合もある。

【指導の充実に向けた国の関連資料】

全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会
説明資料及び動画資料

全国学力・学習状況調査の結果を活用するための解説動画：国立教育政策研究所

- ① 学校・教育委員会への提供資料とその見方（7月に提供される結果データ）（動画）
- ② 学校・教育委員会への提供資料とその見方（7月に提供される結果データ）（資料）
- ③ 学校に提供されたデータから一人一人の児童生徒の状況を見取る（動画）
- ④ 学校に提供されたデータから一人一人の児童生徒の状況を見取る（資料）
- ⑤ 学校・教育委員会への提供資料とその見方（9月に提供される中学校英語の結果データ）（動画）
- ⑥ 学校・教育委員会への提供資料とその見方（9月に提供される中学校英語の結果データ）（資料）

「中学校英語」 I R T を用いた結果返却に関する動画・リーフレット：国立教育政策研究所

- ⑦ 令和 8 年度全国学力・学習状況調査「中学校英語」調査結果（個人票）の見方
- ⑧ 令和 8 年度全国学力・学習状況調査「中学校英語」 I R T を用いた結果返却について



II 調査の結果

1 都道府県別ノート

《都道府県別ノートの見方》※文部科学省より公表された資料 ノートの特徴

- ・箱ひげ図や四分位層等の分布や習熟度に目配りした統計表やグラフ、学力・学習状況等について多面的な分析を行うための結果チャートを掲載。
- ・教科調査の分布や質問調査の結果等について文章で記載。

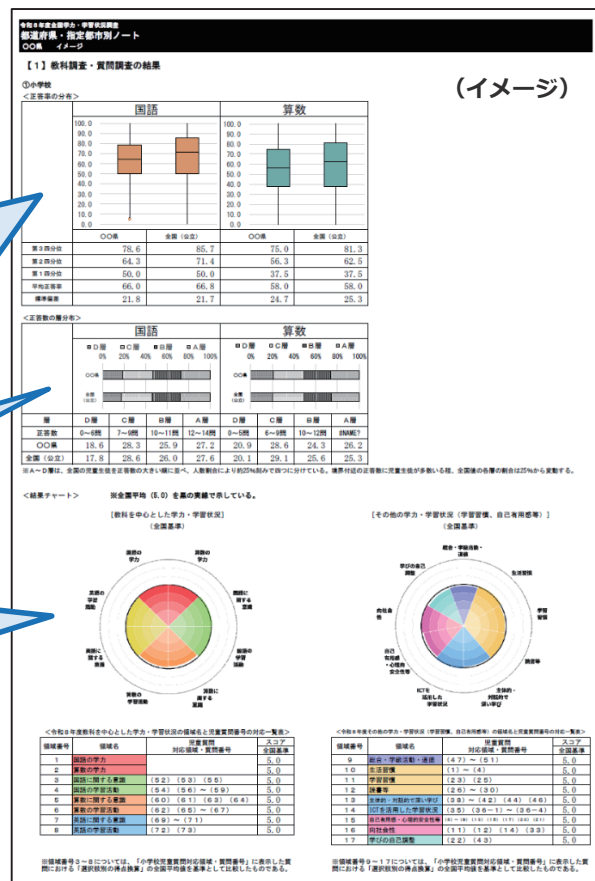
※正答数・IRT バンドごとの層分布は、各層の人数から割合を直接算出しているため、「調査結果概況」と0.1 ポイント程度異なる場合があります。

【箱ひげ図】

- 外れ値（下記から外れた値）
- 第1四分位～第3四分位の1.5倍の長さ位置する値
- 第3四分位（75パーセンタイル）
- 中央値（第2四分位（50パーセンタイル））
- 第1四分位（25パーセンタイル）
- 第3四分位～第1四分位の1.5倍の長さ位置する値
- 外れ値（上記から外れた値）

四分位層等の分布や習熟度に目配りした統計表やグラフの掲載。

各領域のブロックの面積が広いほど肯定的回答が多く、狭いほど否定的回答が多い。
点線は、全国平均を示している。具体的な数値は、実施概況（全国）を参照。



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的な傾向と大きな差は見られなかった。
- ・小学校のD層の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・中学校のD層の割合、バンドIの割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「主体的・対話的で深い学び」や「学習習慣」領域のスコアについて、高い結果が出ている（うち、「主体的・対話的で深い学び」は、全国と比較しても高い）。また、「学びの自己調整」や「生活習慣」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「読書等」や「生活習慣」領域のスコアについて、高い結果が出ている（うち、「読書等」は、全国と比較しても高い）。また、「読書等」や「生活習慣」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

【ノート記載例】

（分布・層分布関係）

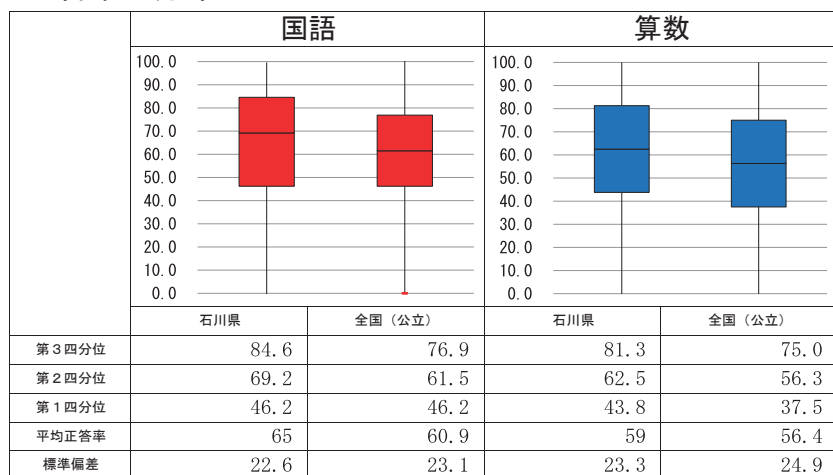
- ・小学校のD層の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・中学校のD層の割合、バンドIの割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- 基本的な記載
- ・●●●●●[学校種/教科]について、D層（バンドI）の割合が全国と比較して10%以上多い結果（2倍以上・1/2以下）となっている。他の教科については、全国と比較して大きな差は見られなかった。
- 全国（公立）のD層（中学校英語はバンドI）の割合の差が10%以上（中学校英語はバンドIの割合の差が2倍・1/2以上）開いた場合に記載。

（質問調査関係）

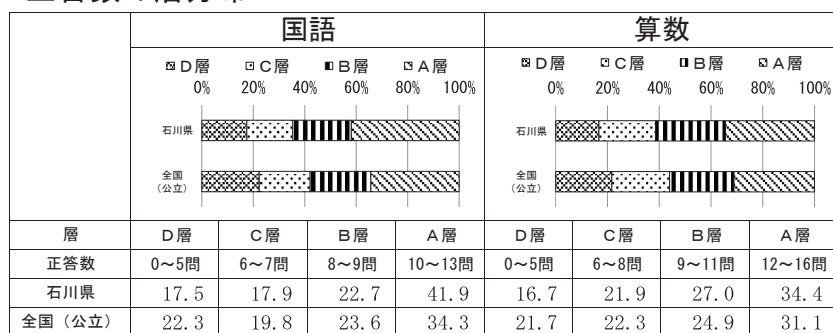
- ・小学校（中学校）においては、「●●」や「●●」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「●●」や「●●」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- 各都道府県・指定都市内で相対的にスコアが高い領域を2つ記載。
※ただし、同一の領域（例：領域番号14、15）から2つ記載はしない。
- 全国平均と比較してスコアの差が0.5以上開いた場合に、【全国と比較しても高い・低い】という記載。

① 小学校

・正答率の分布

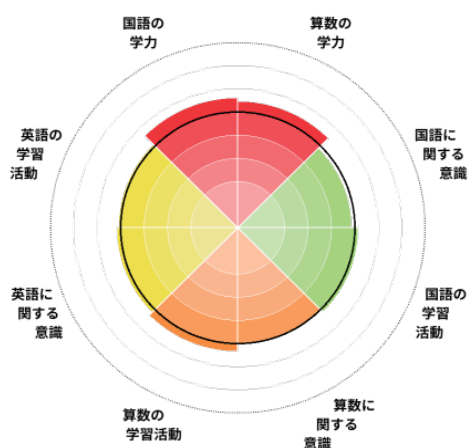


・正答数の層分布

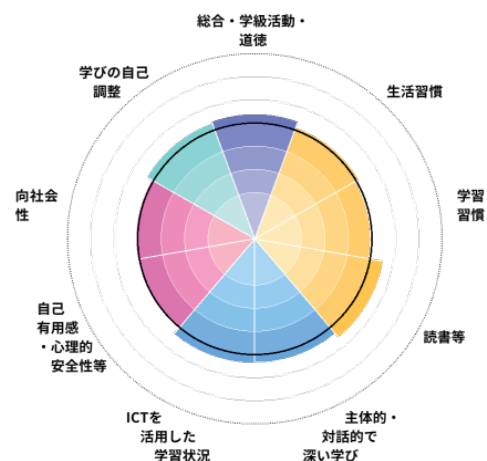


・結果チャート（点線は全国平均を示している。）

【教科を中心とした学力・学習状況】
（全国基準）



【その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）】
（全国基準）

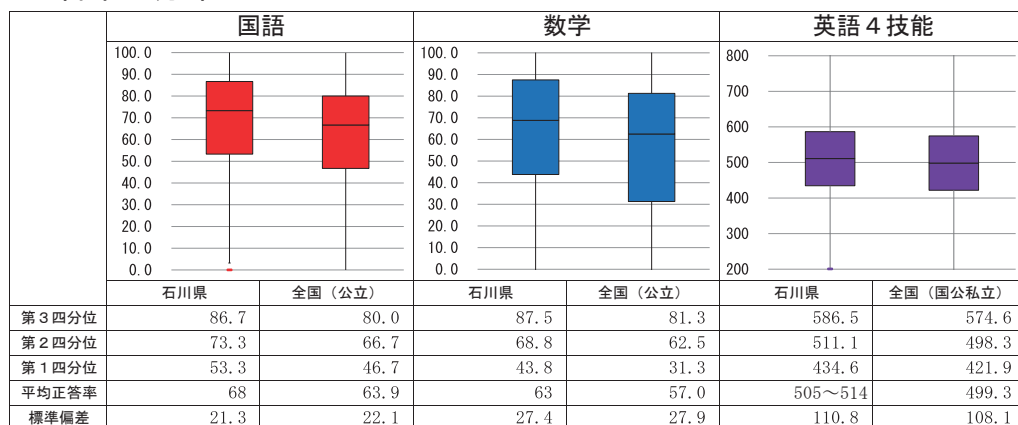


・全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・「読書等」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている。（うち、「読書等」は、全国と比較しても高い）。また、「学習活動」や「国語に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

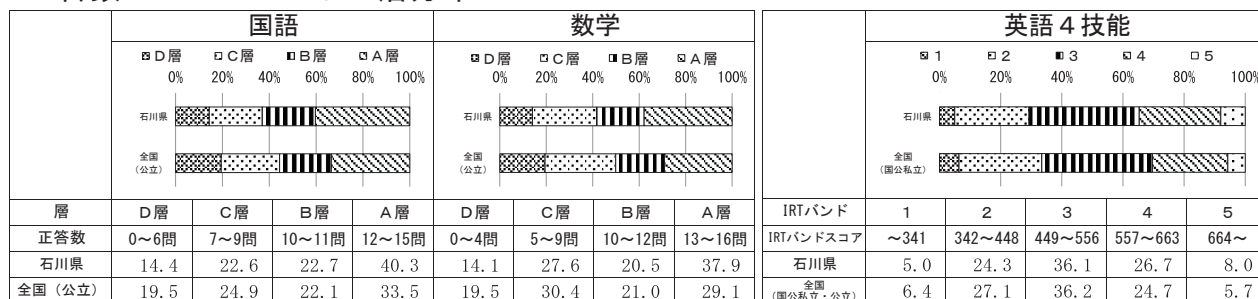
② 中学校

・正答率の分布



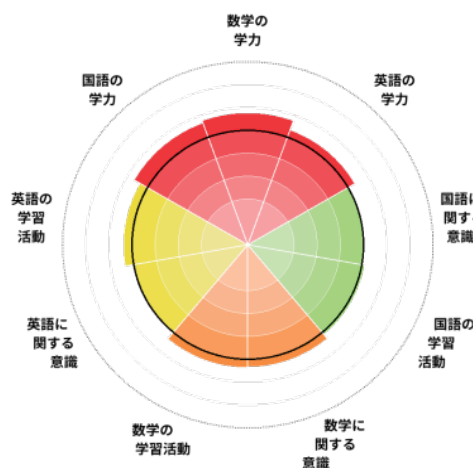
※中学校英語は、CBTで実施し、IRTに基づき算出したスコアにより結果を表示している。

・正答数・IRTバンドの層分布

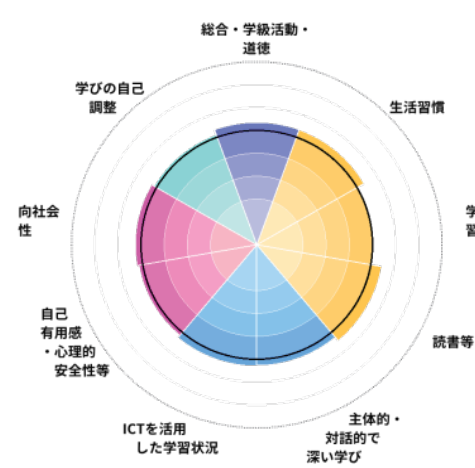


・結果チャート（点線は全国平均を示している。）

【教科を中心とした学力・学習状況】
（全国基準）



【その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）】
（全国基準）



・全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・「読書等」や「数学の学習活動」領域のスコアについて、高い結果が出ている。（うち、「読書等」は、全国と比較しても高い。）また、「学習習慣」や「国語に関する意識」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

2 教科に関する調査の結果

本県の平均正答率、平均IRTスコアは、これまでの調査と同様に、小中学校の国語、算数・数学、中学校英語ともに全国より高い。

学 年	項 目	県・国	国語	算数・数学	英語
小学校 第6学年	問題数		13	16	
	平均正答率 (%)	本県	65	59	
		全国	60.9	56.4	
中学校 第3学年	問題数		15	16	(※1)
	平均正答率 (%)	本県	68	63	513 (※2)
	平均IRT スコア	全国	63.9	57.0	499

※1 英語の3技能「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の問題については、全員共通の公開問題7問と、生徒ごとに異なる問題15問(公開問題3問、非公開問題12問)の計22問で構成。「話すこと」の問題については、全員共通の公開問題2問と、生徒ごとに異なる問題(公開問題2問、非公開問題数問)で構成。

※2 結果は、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアで表記。

IRT(Item Response Theory: 項目反応理論)

…出題された問題の正答・誤答を、難易度や特性と区別して分析し、学力スコアを推定する理論。異なる問題を解いても、同一基準でスコア算出が可能。中学校英語はCBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより、結果を表示している。

《参考》

[令和7年度の結果]

学年	県・国	国語	算数	理科
小学校 第6学年	本県	70	62	61
	全国	66.8	58.0	57.1

学年	県・国	国語	数学	理科
中学校 第3学年	本県	57	54	530
	全国	54.3	48.3	503

※平均IRTスコア

[令和6年度の結果]

学年	県・国	国語	算数
小学校 第6学年	本県	72	67
	全国	67.7	63.4

学年	県・国	国語	数学
中学校 第3学年	本県	62	57
	全国	58.1	52.5

[令和5年度の結果]

学年	県・国	国語	算数
小学校 第6学年	本県	72	67
	全国	67.2	62.5

学年	県・国	国語	数学	英語
中学校 第3学年	本県	73	56	49
	全国	69.8	51.0	45.6

(1)各教科の状況

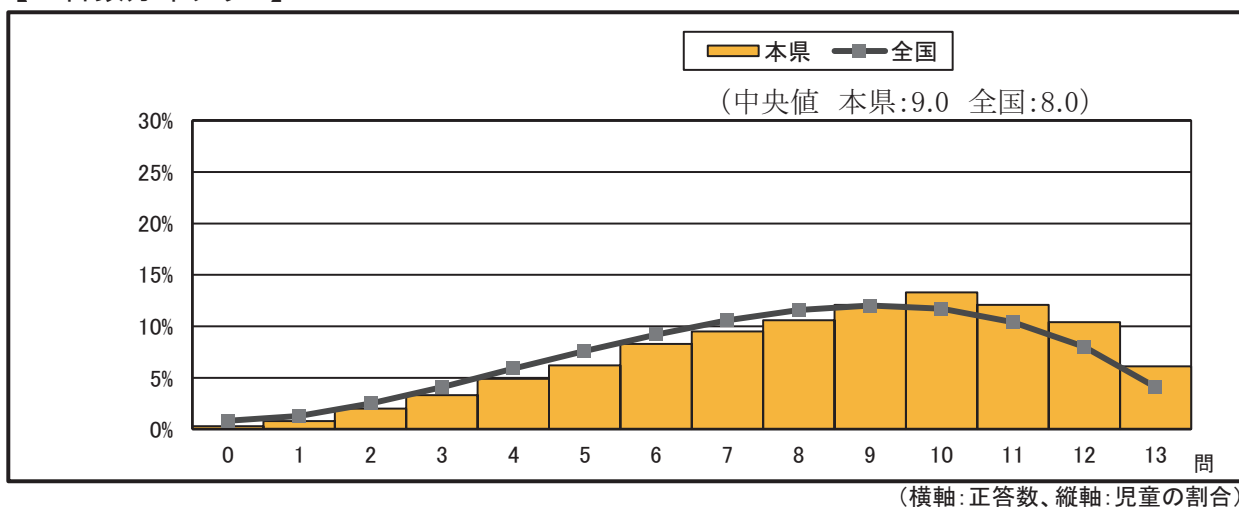
《小学校第6学年 国語》

国語

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、十分とはいえない。
- ☆ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることや、話や文章の種類と
その特徴について理解することはできている。
- ☆ 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、筋道の通った文章となる
ように、文章全体の構成や展開を考えることに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	8.5 / 13 問	65 %	2.9
全国	7.9 / 13 問	60.9 %	3.0

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	2三ア 【花山さんの文章の一部】の下線部アを、漢字を使って書き直す(みじか-い)	85.7	80.0
2	3三(2) 【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く	82.9	76.4
3	3一 【文章】の特徴として適切なものを選択する	78.3	76.7

【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	2四 【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く	43.8	33.5
2	2三イ 【花山さんの文章の一部】の下線部イを、漢字を使って書き直す(ふしぎ)	49.2	45.2
3	2二 【花山さんの文章の一部】の下線部①に続く文として適切なものを選択する	57.0	48.9

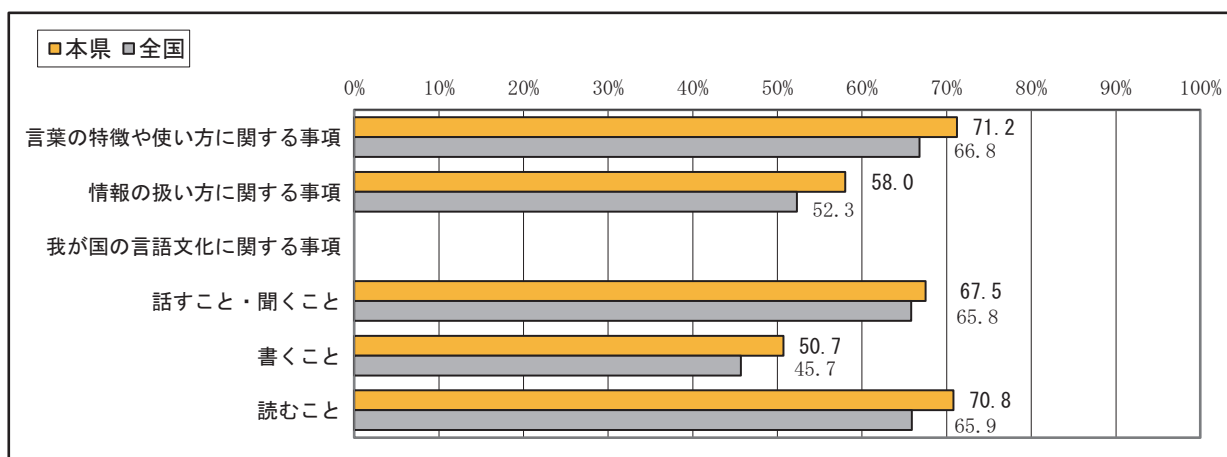
【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い問題】

	問題番号	問題の概要	本県	全国	差
1	2一	花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	57.5	57.9	-0.4

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【知識及び技能】

【言葉の特徴や使いに関する事項】

◇：話や文章の種類とその特徴について理解すること〔3一〕

【情報の扱いに関する事項】

▼：考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解すること〔2二〕

【思考力、判断力、表現力等】

【話すこと・聞くこと】

◇：相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること〔1一〕

▽：資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること〔1二(1)(2)〕

【書くこと】

▼：筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること〔2一〕

▼：引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること〔2四〕

【読むこと】

○：文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること〔3三(2)〕

▼：目的に応じて、必要な情報を見付けること〔3三(1)〕

〔 〕内:問題番号

【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）	
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと								
1一	【構成メモ】の工夫として適切なものを選択する				○				○		75.7	0.3	73.9	0.8	
1二(1)	【動画の一部】の工夫として適切なものを選択する				○				○		61.9	0.2	60.2	0.6	
1二(2)	【動画の一部】の太線囲みの部分の工夫として適切なものを選択する				○				○		64.9	0.3	63.2	0.7	
1二(3)	〈音声〉の下線部の工夫の効果として適切なものを選択する	○							○		71.8	0.4	65.2	0.8	
2一	花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する					○			○		57.5	0.4	57.9	0.8	
2二	【花山さんの文章の一部】の下線部①に続く文として適切なものを選択する		○						○		57.0	0.6	48.9	1.1	
2三ア	【花山さんの文章の一部】の下線部アを、漢字を使って書き直す（みじか－い）	○							○		85.7	1.8	80.0	4.1	

【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）	
		言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと								
2三イ	【花山さんの文章の一部】の下線部イを、漢字を使って書き直す（ふしぎ）	○						○			49.2	4.2	45.2	6.6	
2四	【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く					○			○		43.8	3.4	33.5	5.2	
3一	【文章】の特徴として適切なものを選択する	○						○			78.3	0.7	76.7	2.2	
3二	傍線部①、②、③について【林さんのメモ】にどのように整理したのかを説明したものとして適切なものを選択する		○					○			59.0	0.9	55.6	2.5	
3三(1)	【話し合いの様子の一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する						○		○		58.6	1.2	55.5	3.3	
3三(2)	【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く						○		○		82.9	9.0	76.4	15.6	

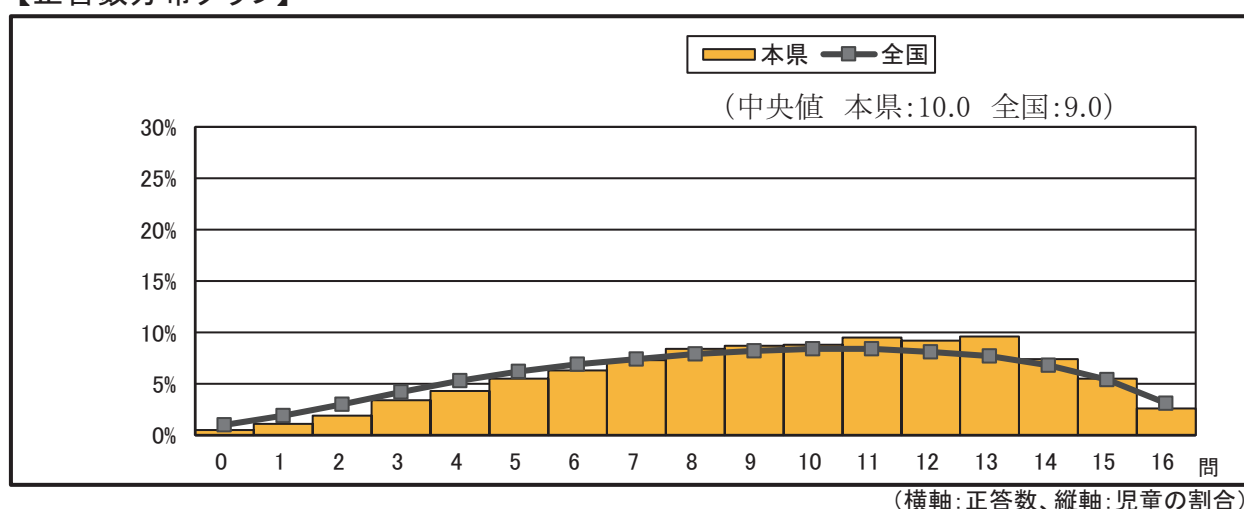
《小学校第6学年 算数》

算数

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、不十分である。
- ☆ 小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることや、示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることはできている。
- ☆ 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることや、基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	9.5 / 16 問	59 %	3.7
全国	9.0 / 16 問	56.4 %	4.0

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い問題】

	問題番号	問題の概要	本県	全国
1	3(1)	1、5、9の3枚のカードを当てはめてつくることのできる最も大きい数を書く	96.1	94.5
2	4(2)	昔遊びの計画を見て、全体で使える時間の中で、「前半」に使える時間は何分間かを書く	81.6	78.1
3	1(1)	一辺が8cmの立方体の体積を求める式を書く	78.6	72.7

【正答率の低い問題】

	問題番号	問題の概要	本県	全国
1	4(3)	二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く	19.7	17.9
2	2(4)	赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ	35.4	34.2
3	2(3)	ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ	36.9	36.1

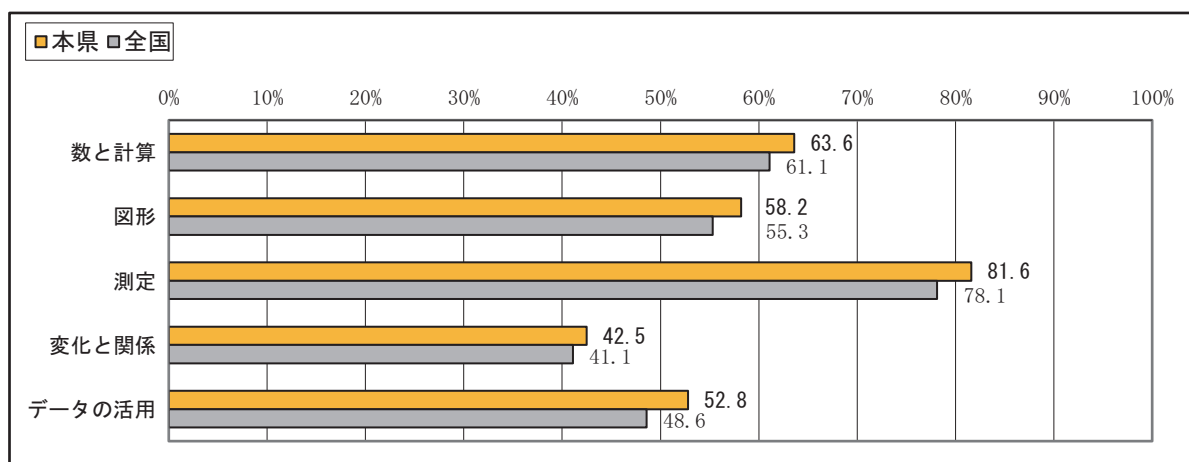
【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い問題】

	問題番号	問題の概要	本県	全国	差
1	1(3)	1立方センチメートルの立方体を36個使ってできた直方体の体積を書く	39.4	40.1	-0.7

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【数と計算】

- ◎ : 小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくること〔3(1)〕
- ▼ : 異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること〔3(3)〕

【図形】

- ◇ : 立方体の体積の計算による求め方について理解すること〔1(1)〕
- ▼ : 体積の意味について理解すること〔1(3)〕

【測定】

- : 示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること〔4(2)〕

【変化と関係】

- ▼ : 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断すること〔2(3)〕
- ▼ : 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶこと〔2(4)〕

【データの活用】

- ▽ : 示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述すること〔4(1)〕
- ▼ : 二次元の表から、条件に合う数を読み取ること〔4(3)〕

〔 〕内:問題番号

【各問題の正答率等】

算数

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国	
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	一辺が8 cmの立方体の体積を求める式を書く		○				○			78.6	0.6	72.7	1.3
1(2)	直方体の箱の形の六つの面のうち、四つの面が示されたとき、残りの二つの面の縦と横の長さを書く		○				○			67.2	1.0	63.0	1.7
1(3)	1立方センチメートルの立方体を36個使ってできた直方体の体積を書く		○				○			39.4	2.7	40.1	4.2
1(4)	四つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書く	○	○			○		○		47.7	4.0	45.2	5.8
2(1)	74291の百の位の数に四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選ぶ	○					○			68.7	0.4	66.5	1.0
2(2)	イシガメ14匹が動物園全体のカメの数の20%に当たるときの、動物園全体のカメの数を求める式と答えを書く				○		○			55.3	5.0	53.1	7.2
2(3)	ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ				○			○		36.9	1.0	36.1	1.6
2(4)	赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ	○			○		○			35.4	0.8	34.2	1.5

【各問題の正答率等】

算数

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国	
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
3(1)	1、5、9の3枚のカードを当てはめてつくることのできる最も大きい数を書く	○					○			96.1	0.6	94.5	1.0
3(2)	二つの小数のどちらが5に近いかを判断するために、 $6.37 - 5$ と $5 - 3.76$ を計算する	○					○			60.6	1.3	58.1	2.2
3(3)	$7 \div 3$ と $7 \div 4$ のどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く	○						○		46.8	2.0	44.0	3.2
3(4)	$5 \div 3$ を表す目盛りが示された数直線上で、1を表す目盛りを選ぶ	○					○			71.9	1.6	68.1	2.7
4(1)	全員分のアンケートが整理されていない学級を見付け、その根拠となる人数を表1と表2の中から書く					○		○		66.2	2.4	56.2	3.7
4(2)	昔遊びの計画を見て、全体で使える時間の中で、「前半」に使える時間は何分間かを書く	○		○			○			81.6	1.9	78.1	3.4
4(3)	二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く					○	○			19.7	2.0	17.9	3.9
4(4)	帯グラフから、「いっしょに話ができたこと」の割合が約何%かを選ぶ					○	○			77.6	5.2	74.9	6.9

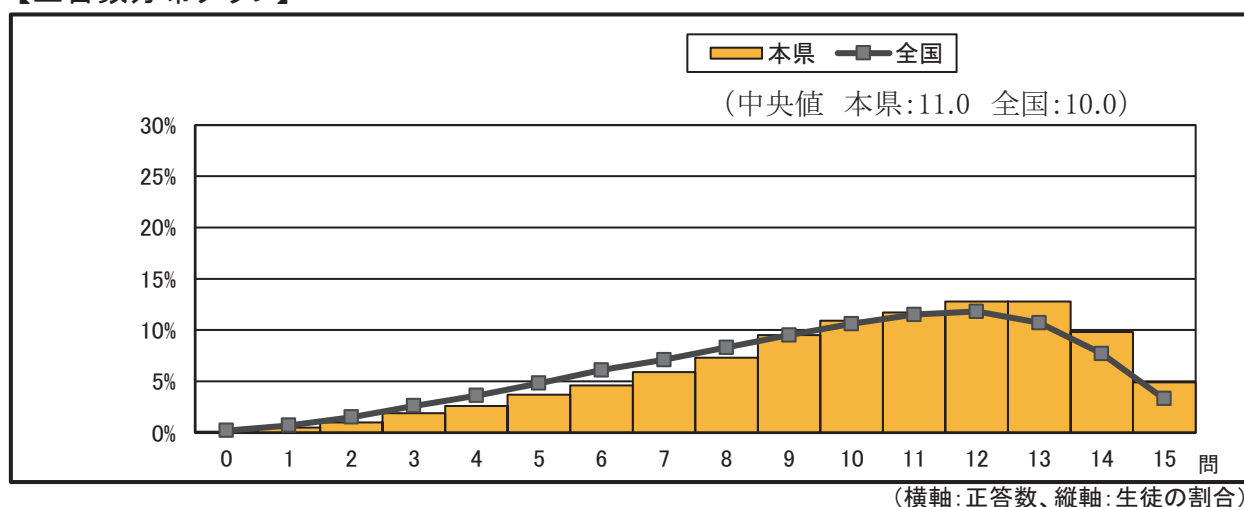
《中学校第3学年 国語》

国語

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、十分とはいえない。
- ☆ 表現の効果を考えて描写することや、単語の活用、助動詞の働きについて理解することはできている。
- ☆ 語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることや、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.2 / 15 問	68 %	3.2
全国	9.6 / 15 問	63.9 %	3.3

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い問題】

	問題番号	問題の概要	本県	全国
1	3二	気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く	92.7	92.3
2	1三	「ら抜き言葉」であるものを選択する	87.8	85.4
3	1一	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する	87.1	84.3

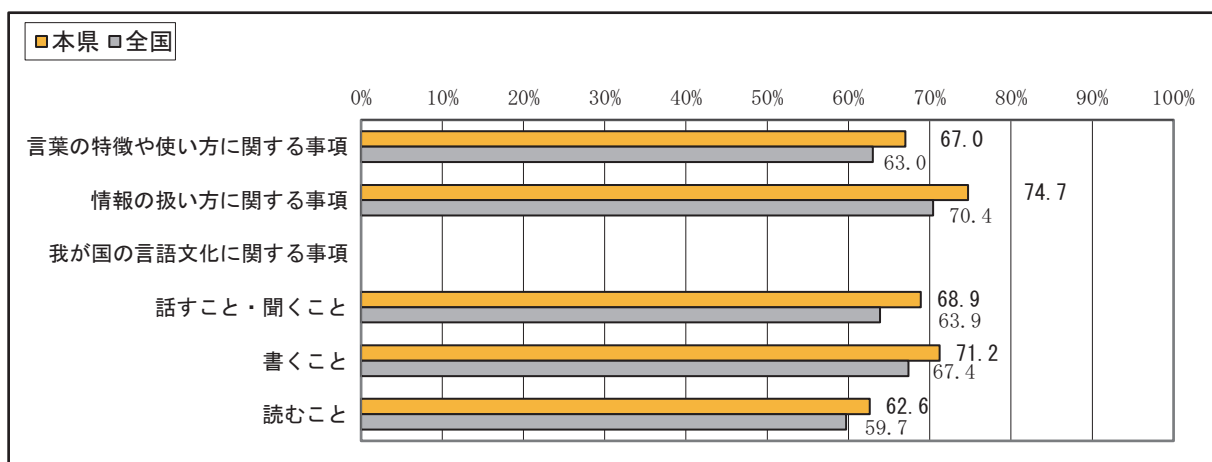
【正答率の低い問題】

	問題番号	問題の概要	本県	全国
1	4四	二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く	40.8	38.9
2	4二	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す	41.6	35.2
3	3一	文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する(とる)	45.5	39.8

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【知識及び技能】

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ：単語の活用、助動詞の働きについて理解すること〔1一、三〕
- ▼：語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること〔4二〕

【情報の扱い方に関する事項】

- ◇：情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと〔2三〕

【思考力、判断力、表現力等】

【話すこと・聞くこと】

- ◇：目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること〔2一〕
- ▼：互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること〔2四〕

【書くこと】

- ◎：表現の効果を考えて描写すること〔3二〕
- ▼：表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと〔3四〕

【読むこと】

- ◇：目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈すること〔4三〕
- ▼：文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること〔4四〕

〔 〕内:問題番号

【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
		言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと							
1一	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する	○						○			87.1	0.1	84.3	0.2
1二	「投げられる」を説明したものとして適切なものを選択する	○						○			73.1	0.2	70.2	0.3
1三	「ら抜き言葉」であるものを選択する	○						○			87.8	0.1	85.4	0.2
2一	発言について説明したものとして適切なものを選択する				○				○		75.1	0.2	68.5	0.3
2二	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する				○				○		73.3	0.2	70.4	0.3
2三	話合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択する		○					○			74.7	0.4	70.4	0.4
2四	話合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く				○				○		58.2	14.3	52.7	14.7

【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）	
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと								
3一	文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する(とる)	○						○			45.5	0.2	39.8	0.3	
3二	気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く					○			○		92.7	4.5	92.3	4.8	
3三	文章の展開の意図を説明したものとして適切なものを選択する					○			○		69.0	0.3	65.0	0.5	
3四	書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く					○			○		51.9	10.2	45.0	10.7	
4一	文章全体を三つに分けて整理したものとして適切なものを選択する						○		○		75.9	0.5	71.6	0.7	
4二	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す	○						○			41.6	17.4	35.2	19.8	
4三	文章中に書かれている、会話の表情を表す擬音語・擬態語の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する						○		○		71.1	0.9	68.7	1.1	
4四	二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く						○		○		40.8	18.4	38.9	18.6	

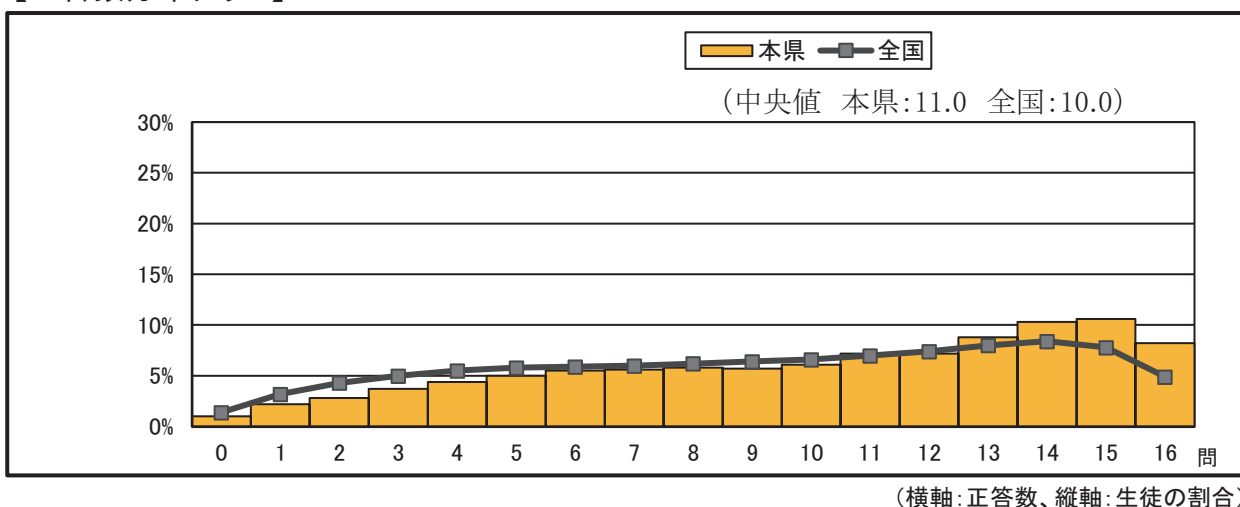
《中学校第3学年 数学》

数学

- ☆ 平均正答率は全国平均を上回るが、十分とはいえない。
- ☆ 具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことや、箱ひげ図と四分位数の対応について理解している。
- ☆ 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することや、証明する事柄の仮定となる辺や角の関係を見いだすことに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.1 / 16 問	63 %	4.4
全国	9.1 / 16 問	57.0 %	4.5

【正答数分布グラフ】



(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)

【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1 1	2月3日のA市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く	87.1	85.7
2 9(2)	学年別の睡眠時間について、学年別睡眠時間の箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを選ぶ	82.0	75.8
3 6(1)	選んだ2数が3と6のときについて、陸斗さんの予想が成り立つことを示す式を書く	79.2	73.2

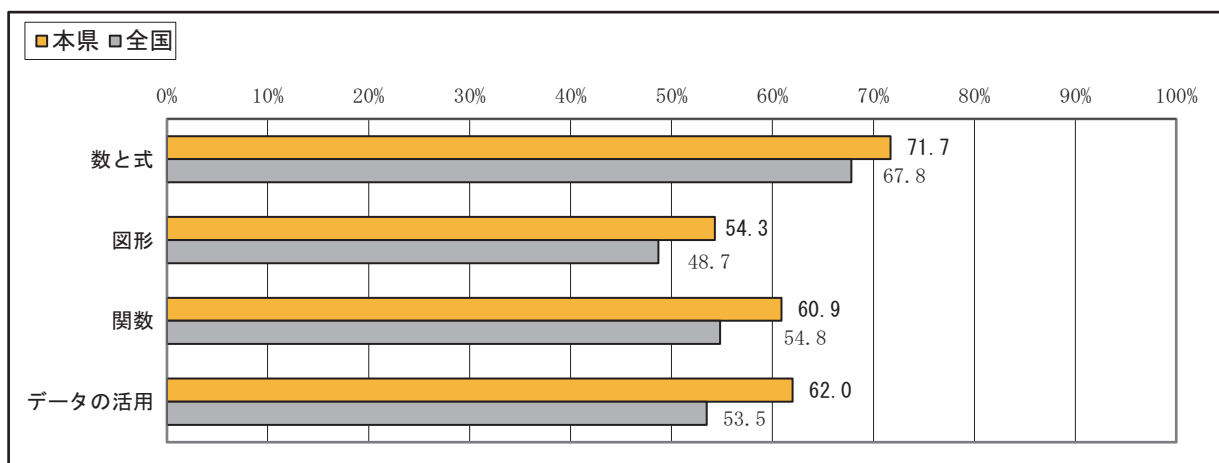
【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1 7(2)	データ量が1000MBになるときの動画の時間がおおよそ何秒になるかを求める方法を説明する	39.8	33.9
2 9(3)	「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する	43.2	31.9
3 8(3)	図2において、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ	43.7	37.1

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【数と式】

- ：具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すこと〔1〕
- ◇：同類項の意味を理解すること〔2〕

【図形】

- ▽：具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えること〔8(1)〕
- ▼：証明する事柄の仮定となる辺や角の関係を見いだすこと〔8(3)〕

【関数】

- ◇：与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること〔7(1)〕
- ▼：数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること〔7(2)〕

【データの活用】

- ：箱ひげ図と四分位数の対応について理解すること〔9(2)〕
- ▽：起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めること〔5〕

[]内:問題番号

【各問題の正答率等】

数学

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域				評価の観点			本県		全国	
		数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1	2月3日のA市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く	○				○			87.1	0.3	85.7	0.6
2	$7x + 9 - 5x + 7x^2 + 2x$ から、 $7x$ の同類項をすべて書く	○				○			73.2	1.5	70.5	2.2
3	四角形PQRSにおいて、PS平行QRを示すための根拠となる二つの角を書く		○			○			54.0	2.0	49.1	2.8
4	反比例の表において、 x の値が -3 のときの y の値を求める			○		○			64.0	0.7	55.3	1.1
5	大小二つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が6で小さいさいころの目が1である確率を求める				○	○			68.1	3.0	60.2	4.8
6(1)	選んだ2数が3と6のときについて、陸斗さんの予想が成り立つことを示す式を書く	○				○			79.2	4.6	73.2	6.6
6(2)	陸斗さんの予想がいつでも成り立つことを説明するための方針を完成するために、当てはまるものを選ぶ	○				○			67.5	0.4	65.0	0.6
6(3)	手順にしたがってできたAとBについて、 $A - B$ の値がどんな数になるかを、選んだ2数の差に着目して説明する	○					○		51.3	21.7	44.6	26.5
7(1)	動画の時間とデータ量の関係を表すグラフにおいて、点Cの座標を書く			○		○			78.9	4.3	75.2	5.6

【各問題の正答率等】

数学

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域				評価の観点			本県		全国	
		数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
7(2)	データ量が1000MBになる ときの動画の時間がおおよそ何秒 になるかを求める方法を説明する			○			○		39.8	33.0	33.9	39.6
8(1)	$\angle AOB$ の大きさが a° のとき、 $\angle POB$ の大きさを a を用いた式で書く		○			○			67.5	7.8	62.5	9.0
8(2)	図1において、 $AB=AP$ 、 $OB=OP$ ならば $\angle AOB=\angle AOP$ であることを、三角形の合同を基にして証明する		○				○		51.9	19.3	46.1	22.2
8(3)	図2において、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ		○			○			43.7	0.8	37.1	1.0
9(1)	全校生徒の睡眠時間の度数分布表において、最小の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数を求める				○	○			54.9	9.6	46.0	14.3
9(2)	学年別の睡眠時間について、学年別睡眠時間の箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを選ぶ				○	○			82.0	0.6	75.8	0.7
9(3)	「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する				○		○		43.2	24.2	31.9	28.9

《中学校第3学年 英語》

英語

- ☆ 平均IRTスコアは全国平均より高く、IRTスコア分布が全国より右側に位置する。
- ☆ IRTバンドの1・2の割合は全国より低く、4・5の割合は全国より高い。

※全国値は、国公立の学校から統計的に抽出され、英語「話すこと」を当日に実施した学校の生徒の結果を集計したもの

平均正答数集計値（公開問題（全日程に共通する問題））

	平均正答数	標準偏差
本県	4.7 / 9 問	2.5
全国	4.5 / 9 問	2.5

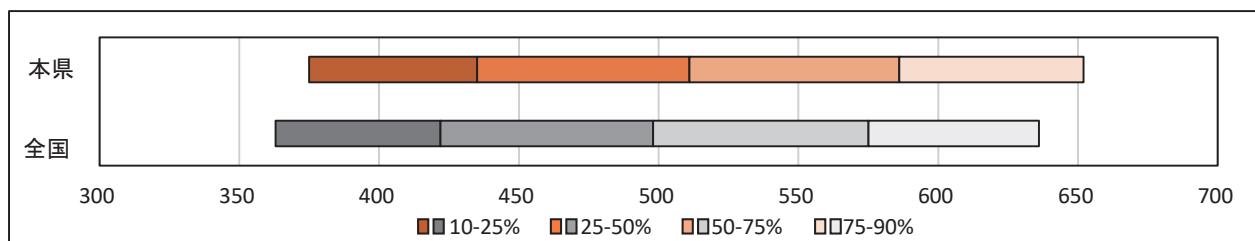
技能別平均正答数集計値（公開問題（全日程に共通する問題））

	聞くこと	読むこと・書くこと	話すこと
本県	1.2 / 2 問	2.7 / 5 問	0.7 / 2 問
全国	1.2 / 2 問	2.6 / 5 問	0.7 / 2 問

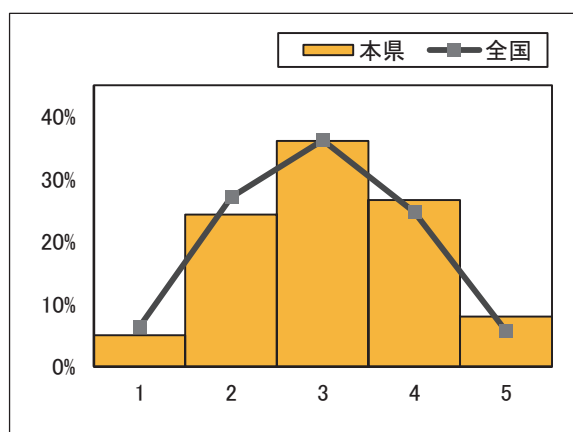
IRTスコア集計値

	平均IRTスコア	標準偏差	パーセンタイル値				
			10%	25%	50%	75%	90%
本県	513	110.8	375	435	511	586	652
全国	499	108.1	363	422	498	575	636

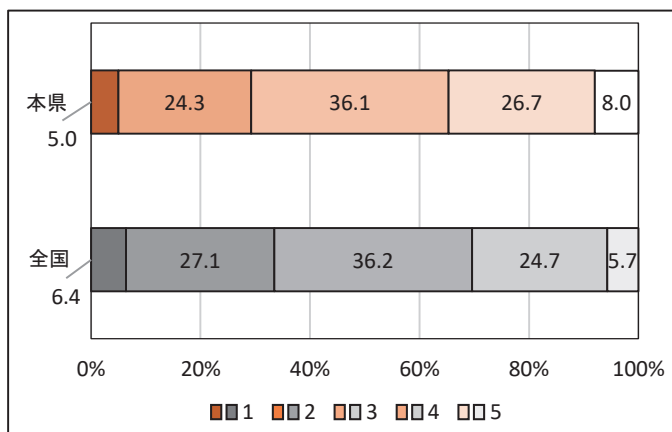
IRTスコア分布グラフ（パーセンタイル値：10%、25%、50%、75%、90%）



IRTバンド分布（横軸：IRTバンド 縦軸：割合）



IRTバンド分布比較



＜公開問題に関する結果＞

☆	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることや、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることにはできている。
☆	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことや書くことに課題がある。
☆	社会的な話題に関して聞いたことや読んだことについて、考えとその理由を話すことや書くことに課題がある。

【正答率の高い問題】

	問題番号	問題の概要	本県	全国	難易度
1	2	ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する	81.0	78.5	3
2	3	学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する	76.8	76.0	3
3	7	誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する	76.7	72.4	3

【正答率の低い問題】

	問題番号	問題の概要	本県	全国	難易度
1	18	自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を1つ取り上げ、その理由を話す	26.8	21.5	5
1	19	学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す	26.8	25.8	5
3	10(2)	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く	31.4	27.8	5

【本県の平均正答率が全国の平均正答率より大きく上回っている問題】

	問題番号	問題の概要	本県	全国	差	難易度
1	12	中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く	53.9	47.5	6.4	4
2	13	留学生との交流会で一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を書く	49.3	44.0	5.3	4
2	16	留学生と一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を話す	58.8	53.5	5.3	4
2	18	自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を1つ取り上げ、その理由を話す	26.8	21.5	5.3	5

【到達状況の傾向】

【聞くこと】

○：日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ること〔2〕

▼：日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えること〔4〕

【読むこと】

◇：日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ること〔7〕

▼：社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉えること〔10(1)〕

【話すこと(やり取り)】

▼：音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して話すこと〔15〕

【話すこと(発表)】

▼：日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すこと〔18〕

▼：社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すこと〔19〕

【書くこと】

▼：社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くこと〔10(2)〕

▼：日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと〔14〕

〔 〕内:問題番号

【各公開問題の正答率等】

※「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の全国値は、公立学校の結果から算出したもの。
「話すこと」の全国値は、国公立の学校から統計的に抽出され、「話すこと」を
当日に実施した学校の生徒の結果から算出したもの。

英語

■ : 正答率が全国より高い
□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国※		問題の難易度	対象生徒数	
		(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと 「やり取り」	(4) 話すこと 「発表」	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）		石川県（人）	全国（人）
1	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する	○					○			62.9	0.0	60.2	0.2	4	8,343	839,203
2	ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する	○						○		81.0	0.1	78.5	0.1	3	2,855	287,687
3	学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する	○						○		76.8	0.1	76.0	0.1	3	2,745	275,718
4	職場体験についての発表を聞き、その後に示される3枚の絵を体験した順になるように選択する	○						○		46.9	0.2	43.8	0.3	4	2,743	275,798
5	住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する	○						○		58.6	0.1	55.6	0.2	4	8,343	839,203
6	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する		○				○			70.1	1.0	67.3	1.1	3	8,343	839,203
7	誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する		○					○		76.7	0.1	72.4	0.1	3	2,837	288,327
8	友達からのメッセージを読み、相手が示した条件に合うウェブサイトを選択する		○					○		68.8	0.1	63.8	0.1	3	2,744	275,477
9	物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものを選択する		○					○		52.1	0.2	49.0	0.1	5	2,762	275,399
10(1)	インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する		○					○		49.1	0.2	47.5	0.2	4	8,343	839,203

【各公開問題の正答率等】

※「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の全国値は、公立学校の結果から算出したもの。
「話すこと」の全国値は、国公立の学校から統計的に抽出され、「話すこと」を
当日に実施した学校の生徒の結果から算出したもの。

英語

■: 正答率が全国より高い
□: 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国※		問題の難易度	対象生徒数	
		(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと 「やり取り」	(4) 話すこと 「発表」	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）		石川県（人）	全国（人）
10(2)	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く					○		○		31.4	12.1	27.8	14.6	5	8,343	839,203
11①	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く					○	○			61.5	2.1	58.9	2.5	3	8,343	839,203
11②	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く					○	○			53.9	2.4	52.7	3.0	3	8,343	839,203
12	中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く					○		○		53.9	7.8	47.5	8.7	4	2,861	288,219
13	留学生との交流会で一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を書く					○		○		49.3	7.8	44.0	9.3	4	2,744	275,477
14	学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く					○		○		32.9	11.1	27.8	14.2	4	2,738	275,507

【各公開問題の正答率等】

※「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の全国値は、公立学校の結果から算出したもの。
「話すこと」の全国値は、国公立の学校から統計的に抽出され、「話すこと」を
当日に実施した学校の生徒の結果から算出したもの。

英語

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国※		問題の難易度	対象生徒数	
		(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと 「やり取り」	(4) 話すこと 「発表」	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		石川県(人)	全国(人)
15(1)	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に明日の天気を伝える			○			○			46.4	9.0	42.3	9.2	5	8,134	46,096
15(2)a	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生からの質問を聞き、明日しようと思っていることを伝える			○			○			36.7	12.4	33.5	12.0	4	4,539	25,779
15(2)b	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に自分の家に来てもらうように依頼する			○			○			35.4	14.1	32.1	13.4	4	3,595	20,317
16	留学生と一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を話す				○		○			58.8	9.9	53.5	11.3	4	2,697	15,252
17	自分の好きな人物を1人取り上げ、好きな理由を話す				○		○			49.4	12.4	48.0	12.1	4	2,748	15,577
18	自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を1つ取り上げ、その理由を話す				○		○			26.8	12.9	21.5	13.5	5	2,689	15,267
19	学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す				○		○			26.8	15.7	25.8	17.0	5	8,134	46,096

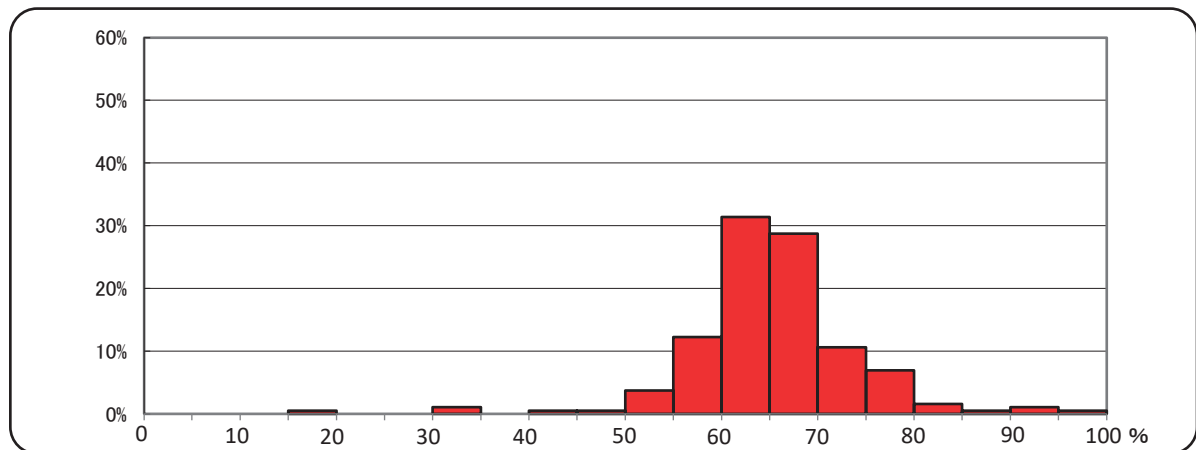
(2) 学校の分布状況

《公立小学校第6学年》

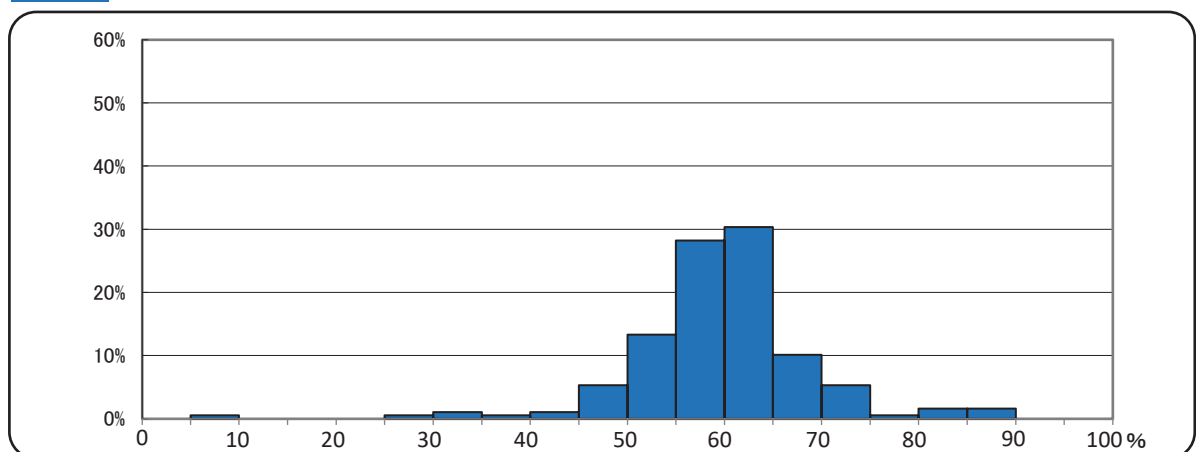
学校数

188 校

国語



算数



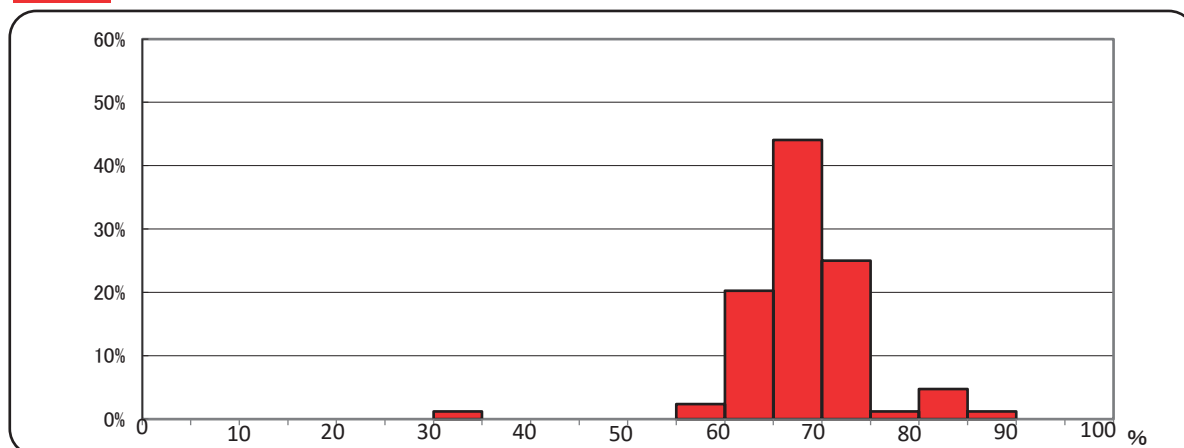
(横軸: 学校の平均正答率 縦軸: 学校数の割合)

《公立中学校第3学年》

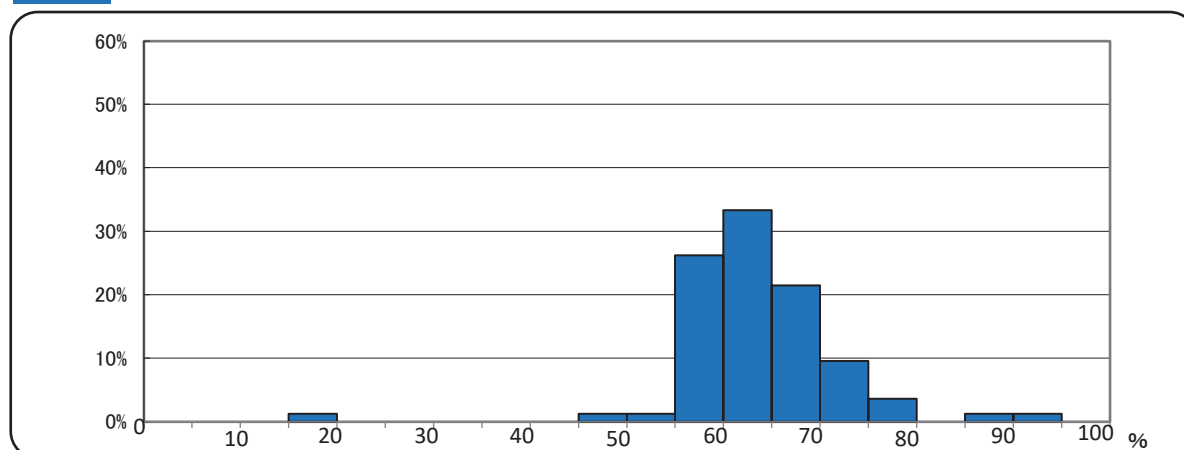
学校数

84 校

国語



数学



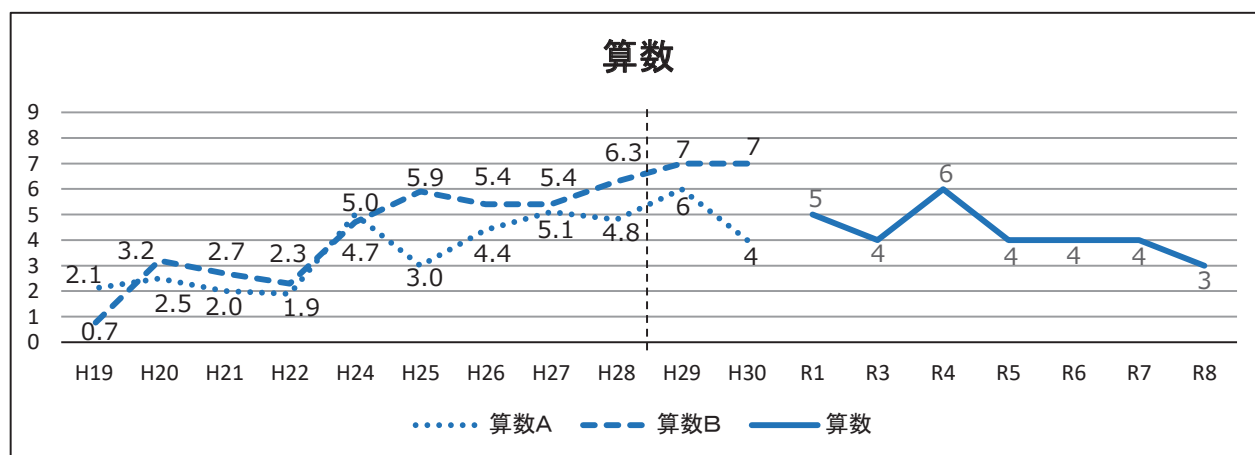
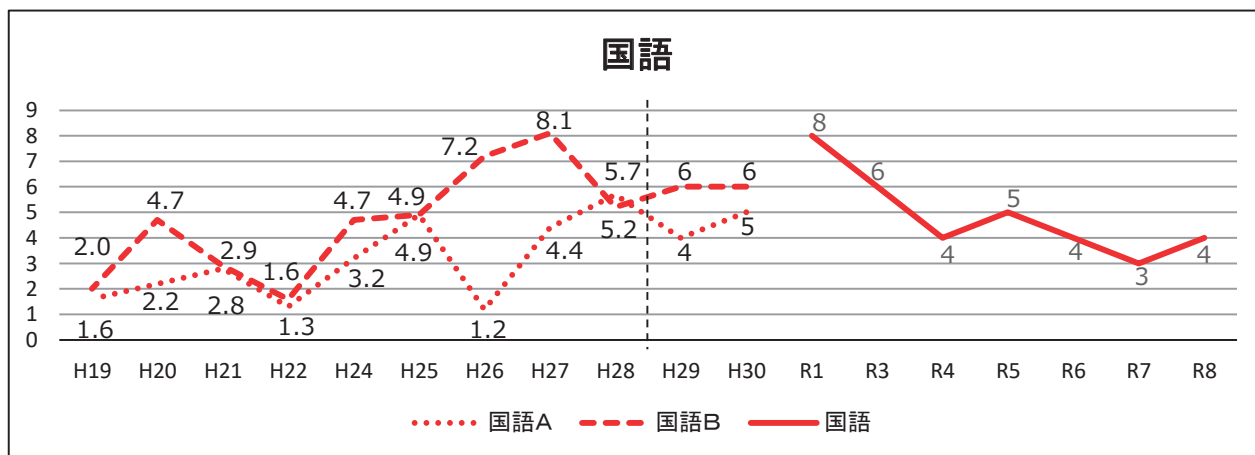
(横軸: 学校の平均正答率 縦軸: 学校数の割合)

英語

※ 令和8年度の中学校英語の結果は、IRTに基づき算出したIRTスコアのため、グラフの記載なし

(3) 平均正答率の全国との差の変動

小学校



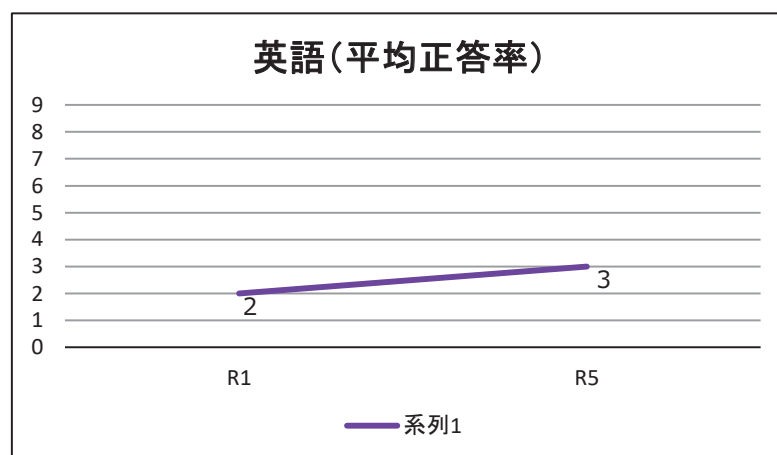
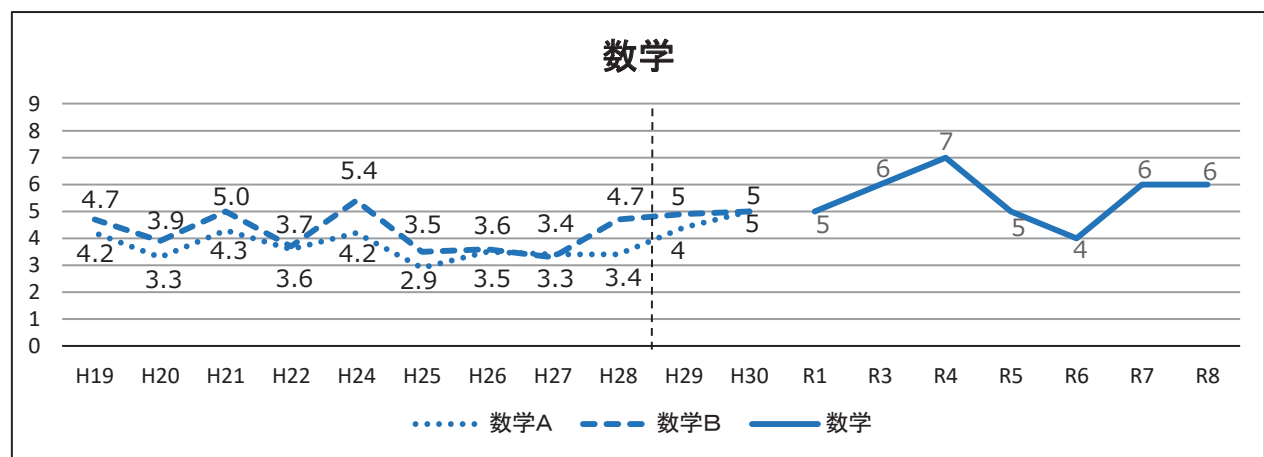
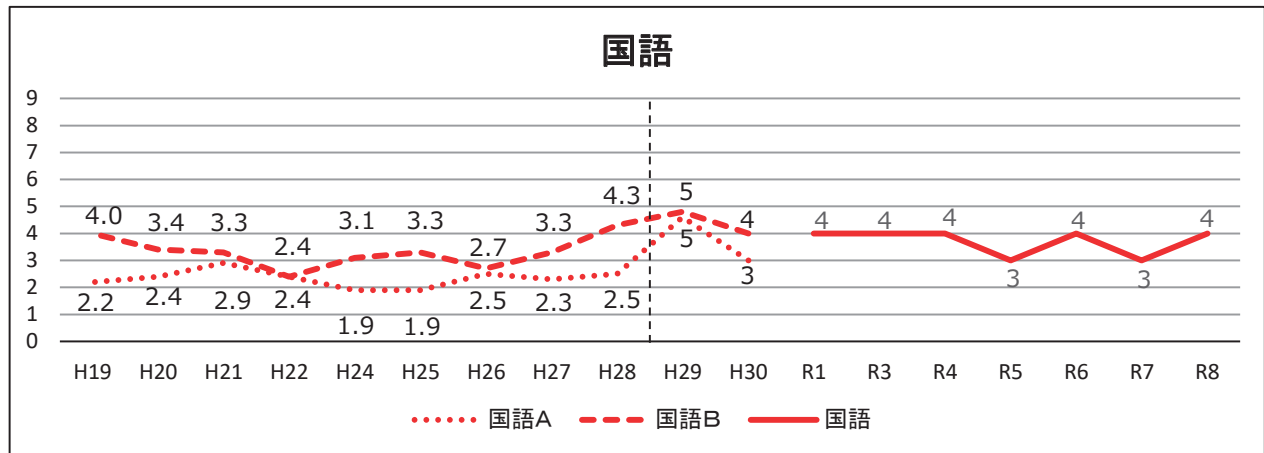
(横軸:年度 縦軸:ポイント)

※ 平成29年度より、文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。そのため、国と県のそれぞれの平均正答率を整数値として算出し、その差を示したものである。

※ 令和元年度より、従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。

※ 悉皆調査(H19～H21、H26～)、抽出調査(H22、H24)、文部科学省による調査は中止(H23、R2)

中学校



※ 令和8年度の中学校英語の結果は、IRTに基づき算出したIRTスコアのためグラフの記載なし

(横軸:年度 縦軸:ポイント)

- ※ 平成29年度より、文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。そのため、国、県、それぞれの平均正答率を整数値として算出し、その差を示したものである。
- ※ 令和元年度より、従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。
- ※ 悉皆調査(H19～H21、H26～)、抽出調査(H22、H24)、文部科学省による調査は中止(H23、R2)

3 質問調査の結果

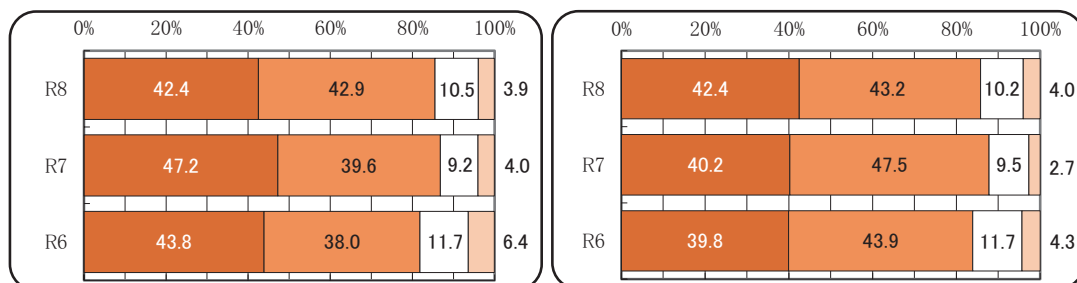
(1) 児童生徒質問調査

【小学校】

【中学校】

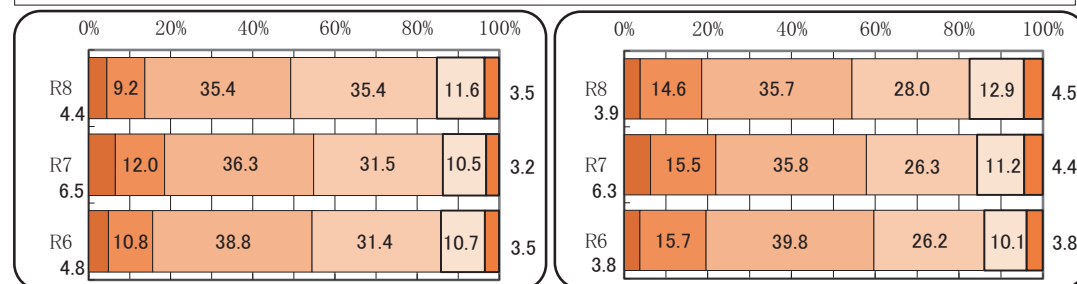
◇ 自分には、よいところがあると思いますか

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



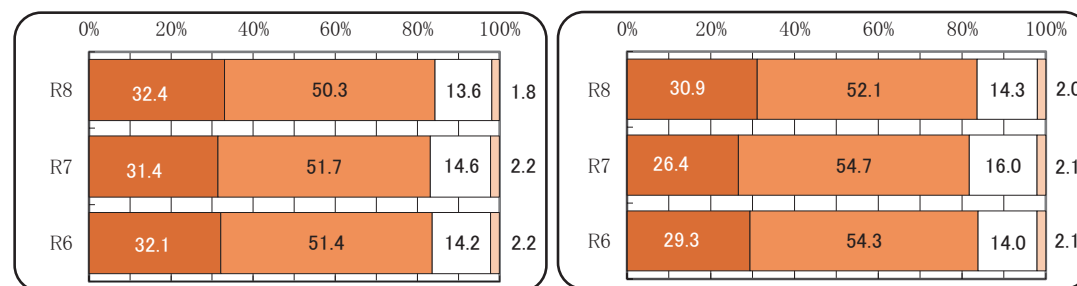
◇ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

■ 3時間以上 ■ 2時間以上、3時間より少ない ■ 1時間以上、2時間より少ない ■ 30分以上、1時間より少ない ■ 30分より少ない ■ 全くしない



◇ 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

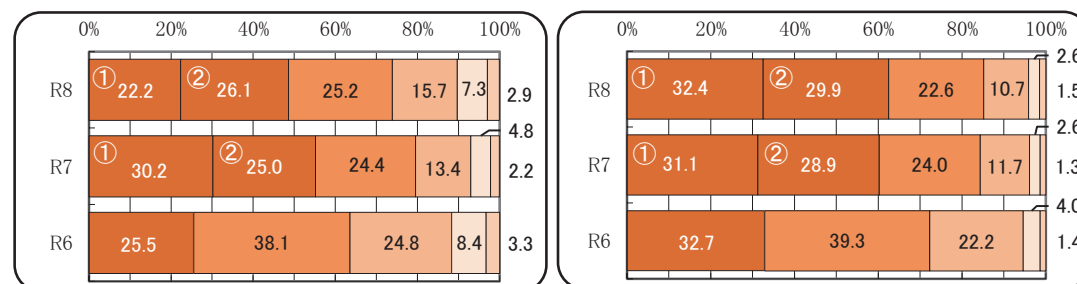
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



◇ 前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

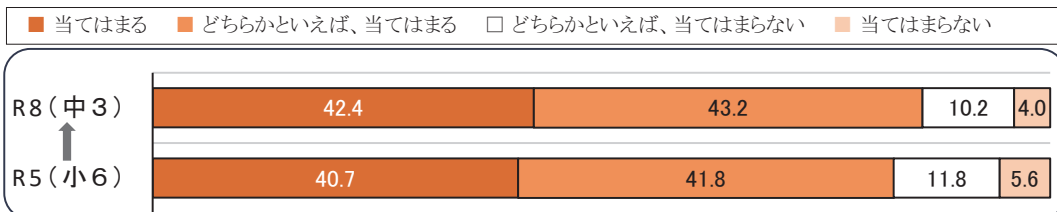
■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

※ 令和7年度より、ほぼ毎日を「①1日に複数の授業で活用」「②1日に1回くらいの授業」に分けて調査

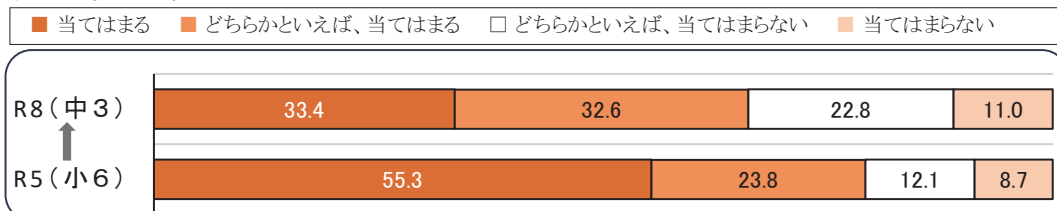


《同一集団における経年比較》※現中学3年生が小学6年生の時に回答した結果と比較

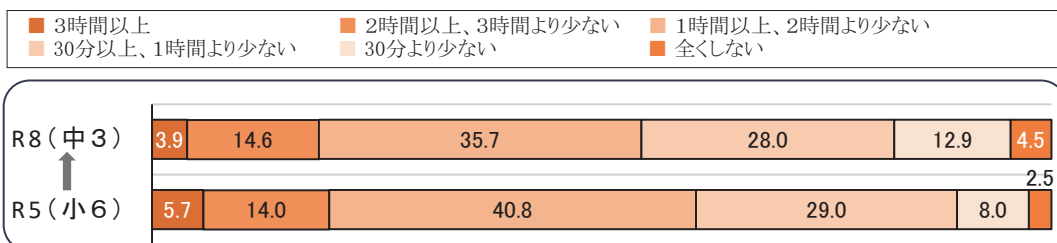
◇ 自分には、よいところがあると思いますか



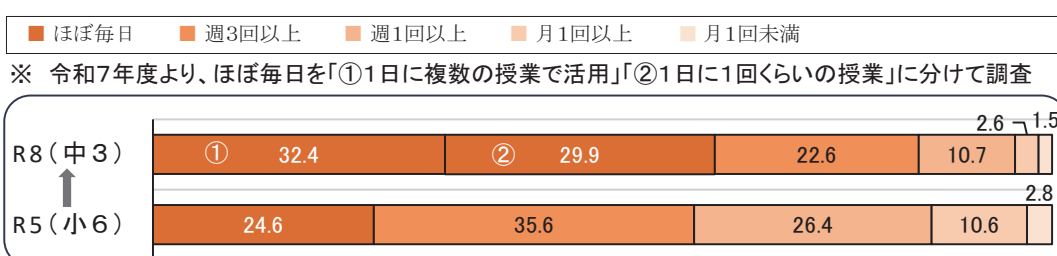
◇ 将来の夢や目標を持っていますか



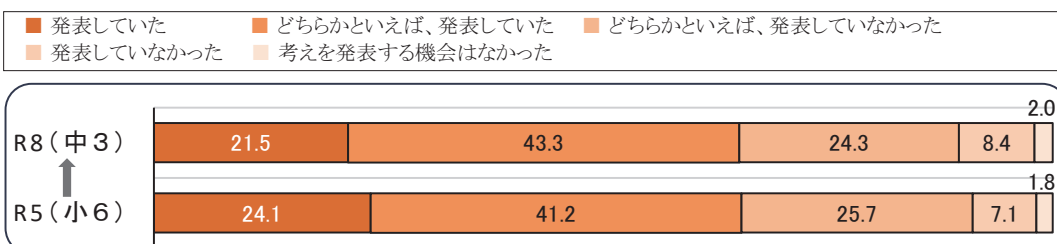
◇ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



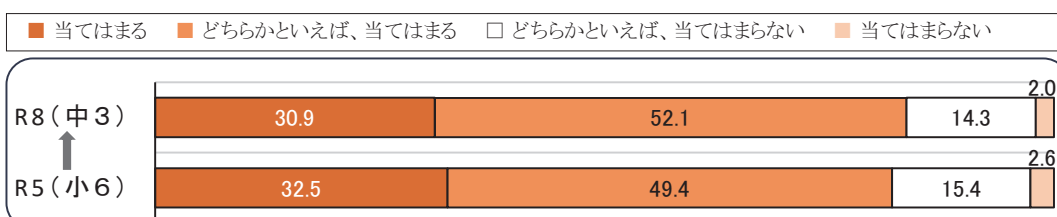
◇ 前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



◇ 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

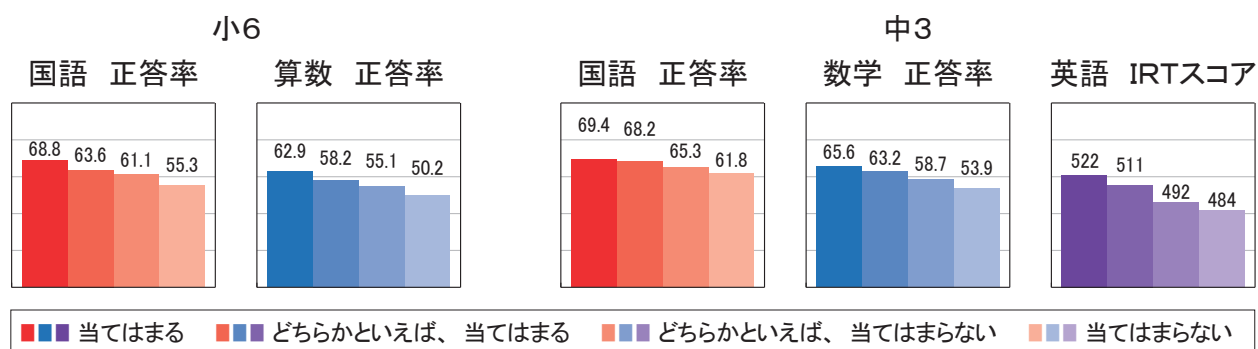


◇ 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

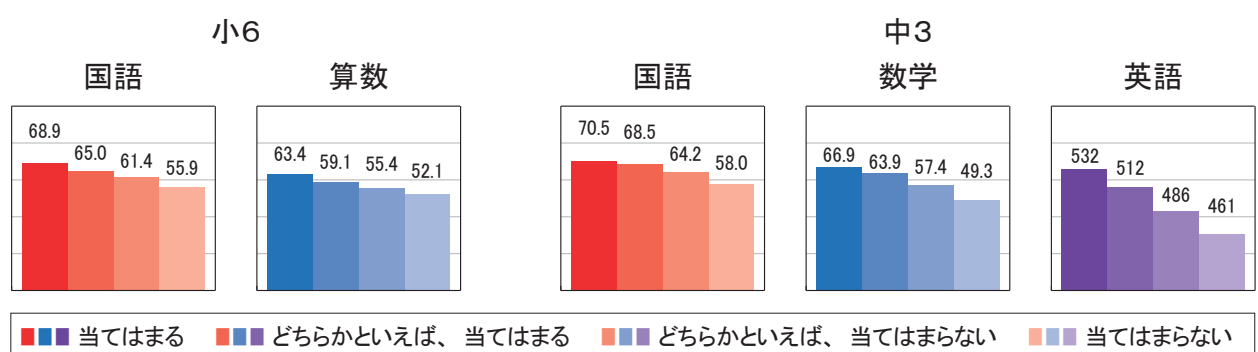


《正答率、IRTスコアとの関係》 ※英語は3技能（聞くこと・読むこと・書くこと）のIRTスコア

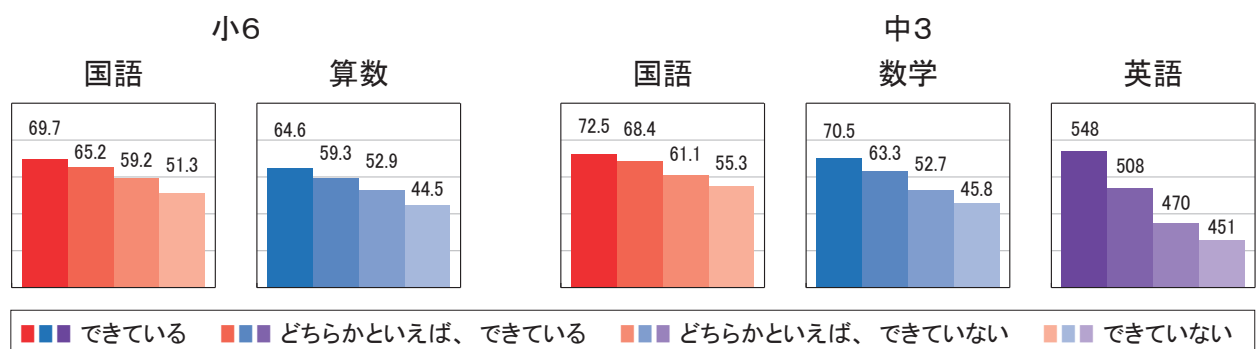
◇ 自分には、よいところがあると思いますか



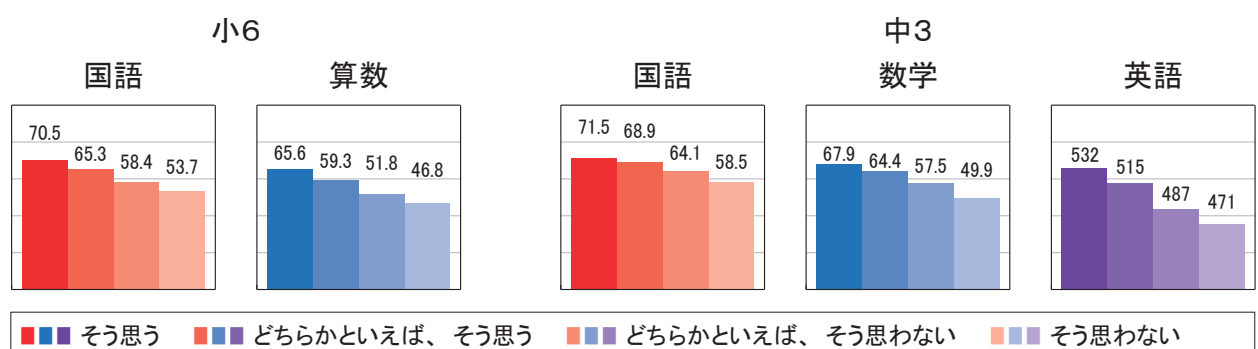
◇ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



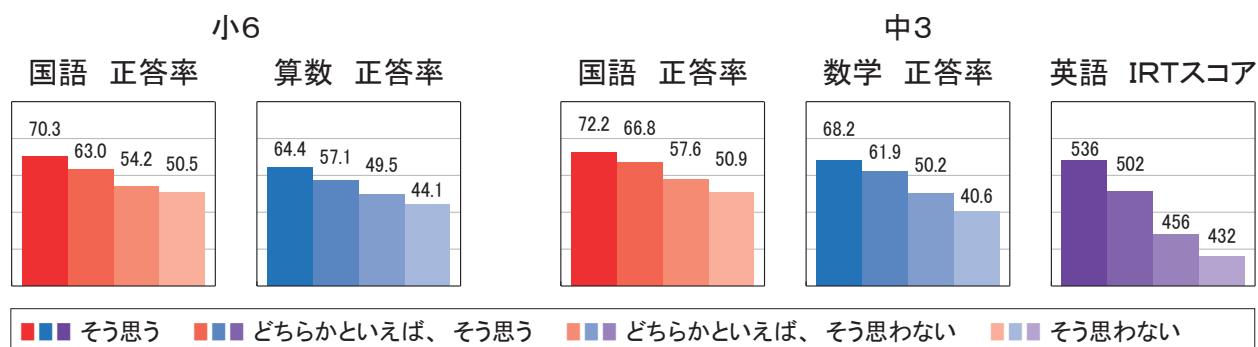
◇ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



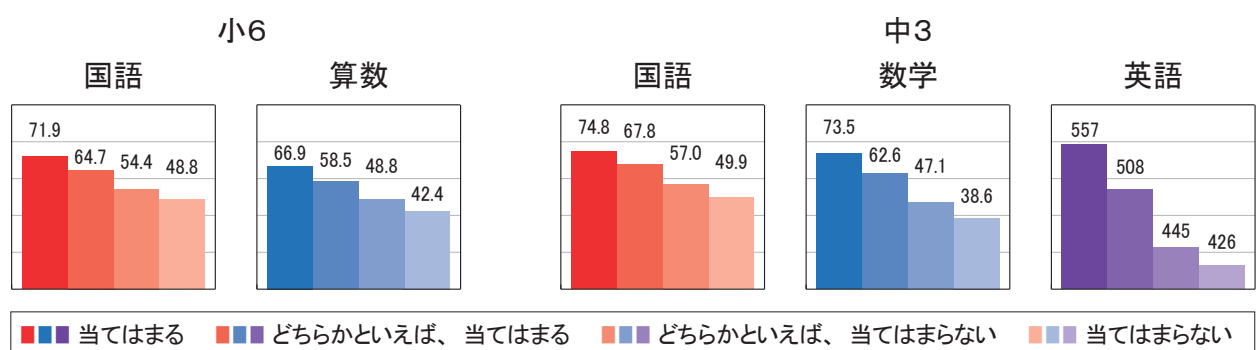
◇ あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか



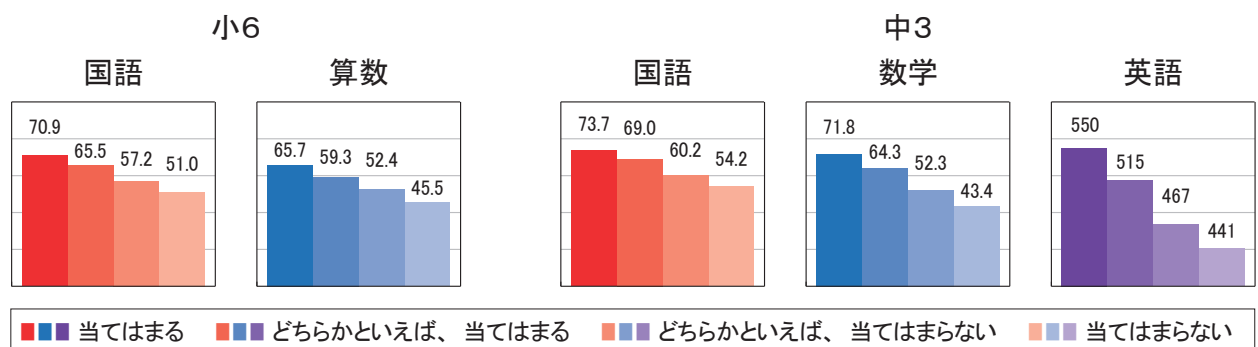
- ◇ あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか



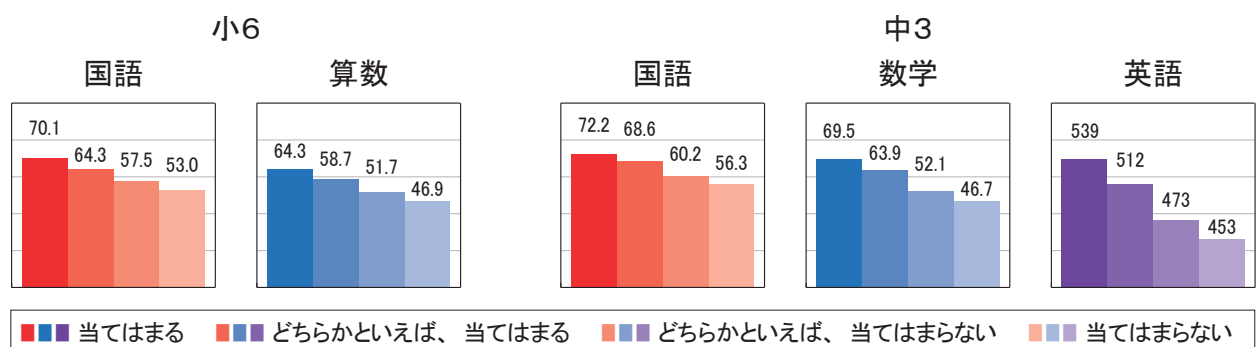
- ◇ 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



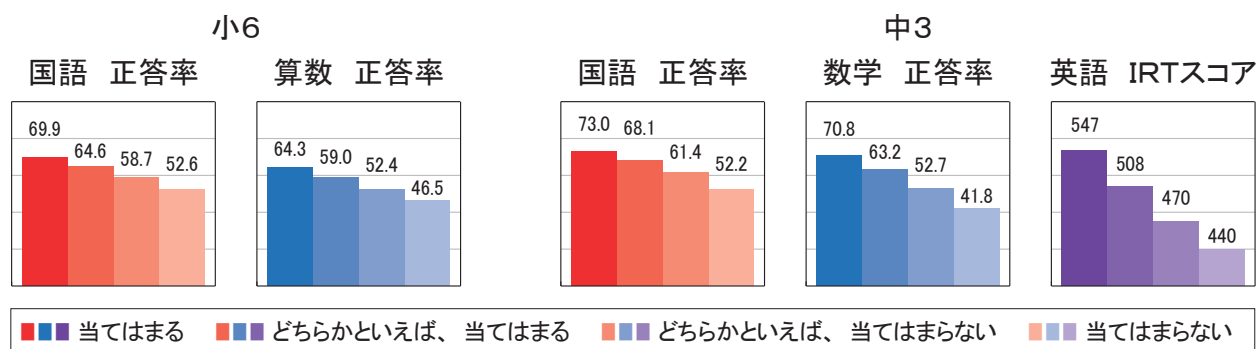
- ◇ 前年度までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



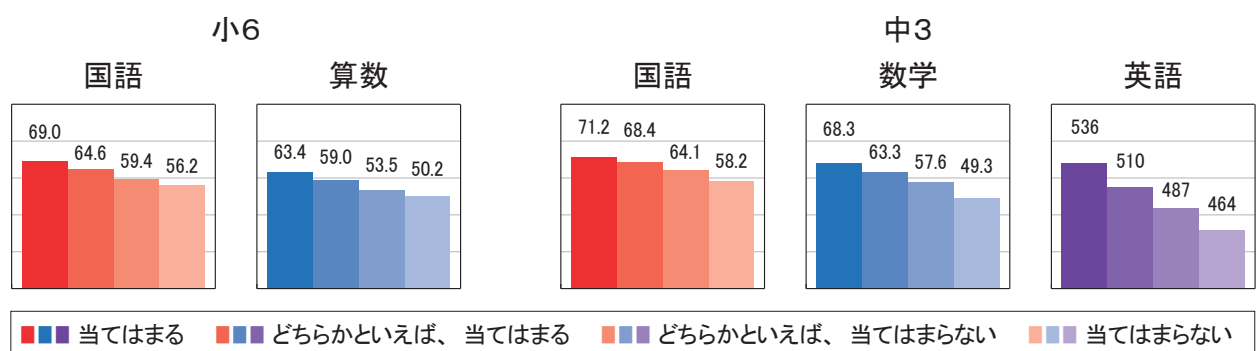
- ◇ 前年度までに受けた授業では、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



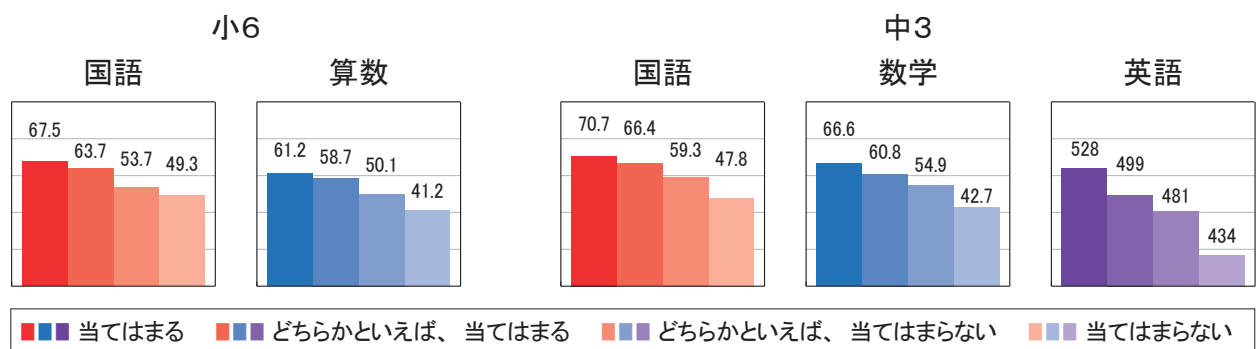
- ◇ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



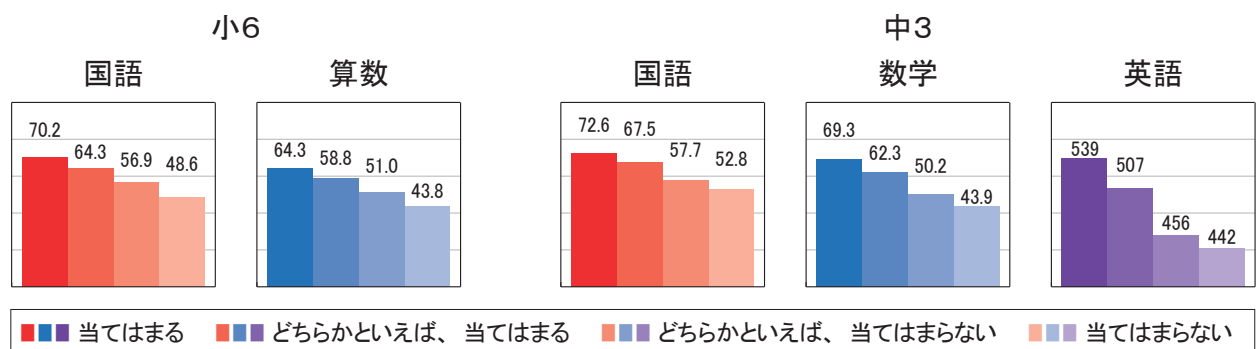
- ◇ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



- ◇ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



- ◇ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



※児童生徒質問調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから抜粋

<表記について>

△:全国より2ポイント以上高い ↑:前年度(前回)より2ポイント以上高い

▼:全国より2ポイント以上低い ※:未実施

① 基本的生活習慣等

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
朝食を毎日食べている	R8	94.3	93.3		93.8	90.9	△
	R7	94.4	93.7		93.8	91.2	△
	R6	94.7	93.7		94.3	91.2	△
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	R8	84.1	82.8		83.8	80.5	△
	R7	82.9	81.9		84.6	81.0	△
	R6	84.2	82.9		84.5	80.7	△
毎日、同じくらいの時刻に起きている	R8	91.9	90.7		94.3	92.4	
	R7	91.7	91.0		93.8	92.6	
	R6	92.9	91.6		94.4	92.5	
普段(月曜日から金曜日)、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などを1日当たり2時間以上する	R8	↑ 59.5	↑ 57.6		↑ 71.9	↑ 74.9	▼
	R6	32.5	33.8		↑ 49.9	↑ 55.9	▼
	R4	31.6	32.5		44.3	52.0	▼
学校の勉強のことにについて、あなたの親や家族は、あなたと週に1～2回以上話す	R8	76.7	75.0		72.8	72.2	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
学校での悩みについて、あなたの親や家族は、あなたと週に1～2回以上話す	R8	33.5	35.5	▼	34.2	36.4	▼
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

② 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
自分には、よいところがあると思う	R8	85.3	85.6		85.6	84.0	
	R7	↑ 86.8	↑ 86.9		↑ 87.7	↑ 86.2	
	R6	81.8	84.1	▼	83.7	83.3	
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	R8	91.4	91.4		90.1	90.9	
	R7	↑ 91.6	↑ 92.2		↑ 91.2	92.2	
	R6	89.0	89.9		89.1	90.4	
将来の夢や目標を持っている	R8	78.7	81.8	▼	66.0	67.6	
	R7	80.6	83.1	▼	↑ 66.5	67.5	
	R6	79.3	82.4	▼	63.8	66.3	▼

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
人が困っているときは、進んで助けている	R8	92.9	92.7		91.0	90.8	
	R7	93.7	93.7		91.6	90.9	
	R6	92.7	92.7		91.4	90.1	
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	R8	97.0	96.2		96.1	95.1	
	R7	97.5	97.2		96.7	95.9	
	R6	97.2	96.7		96.6	95.7	
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	R8	68.4	70.6	▼	72.9	71.9	
	R7	↑ 68.1	↑ 70.6	▼	↑ 72.8	↑ 73.2	
	R6	62.8	67.1	▼	67.7	67.5	
人の役に立つ人間になりたいと思う	R8	96.4	95.8		96.7	95.9	
	R7	97.0	96.4		97.0	96.6	
	R6	96.4	95.9		96.1	95.2	
学校に行くのは楽しいと思う	R8	85.9	85.7		86.9	85.4	
	R7	85.8	86.5		↑ 88.2	↑ 86.1	△
	R6	84.8	84.8		86.1	83.8	△
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	R8	79.4	77.9		80.3	78.6	
	R7	↑ 78.2	↑ 78.1		↑ 81.3	↑ 79.2	△
	R6	74.5	75.8		78.3	76.2	△
友達関係に満足している	R8	91.5	91.1		92.3	91.2	
	R7	91.4	91.7		92.7	91.4	
	R6	91.7	91.1		91.4	90.1	
あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う	R8	71.9	69.6	△	68.4	67.5	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	R8	92.8	92.5		92.1	91.0	
	R7	92.6	93.0		92.9	91.6	
	R6	91.0	91.7		91.1	89.8	

③ 学習習慣、学習環境等

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	R8	80.4	79.4		81.5	78.2	△
	R7	↑ 82.3	81.7		81.8	77.5	△
	R6	79.6	80.7		80.4	78.6	
普段(月曜日から金曜日)、1時間以上勉強(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)をしている	R8	49.0	49.9		54.2	61.6	▼
	R7	54.8	54.0		57.6	61.6	▼
	R6	54.4	54.6		59.3	64.3	▼

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
普段(月曜日から金曜日)、1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている	R8	11.3	13.4	▼	9.3	12.0	▼
	R7	19.1	19.6		12.6	13.7	
	R6	19.9	19.8		14.6	16.6	▼
学校が休みの日に1日2時間以上勉強(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)をしている	R8	11.2	17.1	▼	27.9	29.9	▼
	R7	17.2	21.5	▼	33.9	32.5	
	R6	17.0	21.5	▼	37.8	36.2	
学校の授業時間以外に、普段、1日当たり30分以上読書をしている(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	R8	23.3	26.1	▼	16.2	18.0	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
昼休みや放課後に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室(電子図書館を含む)に週1回以上行っている	R8	32.3	17.6	△	11.8	7.8	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
放課後や学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、地域の図書館(電子図書館を含む)に月1回以上行っている	R8	17.4	16.2		7.1	7.0	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
新聞を週1回以上読んでいる	R8	10.3	10.0		8.3	6.2	△
	R7	11.4	10.5		7.6	5.7	
	R6	12.9	11.6		9.1	7.3	

④ 地域や社会に関わる活動の状況

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	R8	80.3	80.1		74.4	72.3	△
	R7	82.0	81.3		76.9	75.3	
	R6	84.2	83.5		80.2	76.1	△

⑤ ICTを活用した学習状況

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
前学年までに受けた授業で、ほぼ毎日PC・タブレットなどのICT機器を使用した	R8	48.3	43.0	△	↑ 62.3	55.1	△
	R7	55.2	46.7	△	60.0	53.2	△
	※	※	※		※	※	
PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くことなど)ができると思う	R8	82.6	79.1	△	88.1	84.8	△
	R7	85.2	81.8	△	86.4	83.6	△
	※	※	※		※	※	

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思う	R8	87.0	84.9	△	92.5	90.9	
	R7	90.5	89.8		92.5	91.5	
	※	※	※		※	※	
PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思う	R8	↑ 73.6	69.5	△	↑ 73.5	↑ 69.4	△
	R7	71.5	69.3	△	67.6	63.3	△
	※	※	※		※	※	
PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思う	R8	80.4	74.6	△	↑ 85.5	↑ 80.0	△
	R7	81.8	76.7	△	81.0	76.6	△
	※	※	※		※	※	

⑥ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	R8	69.0	66.4	△	↑ 64.8	↑ 65.5	
	R7	68.9	68.6		57.6	63.0	▼
	R6	67.4	67.6		60.5	64.8	▼
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	R8	82.7	77.6	△	83.0	78.8	△
	R7	83.1	80.3	△	81.1	77.7	△
	R6	83.5	81.9		83.6	80.3	△
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	R8	77.2	73.4	△	75.5	70.8	△
	R7	80.8	77.8	△	74.9	70.6	△
	R6	81.8	79.6	△	79.9	75.4	△
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	R8	83.2	80.8	△	81.2	78.9	△
	R7	85.9	83.4	△	82.9	79.3	△
	R6	87.1	84.3	△	84.3	80.9	△
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	R8	88.5	85.7	△	↑ 89.4	↑ 87.0	△
	R7	86.7	84.9		86.4	84.7	
	R6	87.3	86.3		87.9	86.1	
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	R8	82.6	78.4	△	↑ 81.7	↑ 79.0	△
	R7	81.0	79.4		75.5	73.4	△
	R6	81.7	80.8		79.2	77.9	
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う	R8	83.2	80.8	△	↑ 80.2	↑ 78.0	△
	R7	82.9	82.5		76.3	74.8	
	R6	82.5	83.7		79.2	79.0	
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	R8	90.1	87.3	△	86.8	85.2	
	R7	89.0	87.4		85.2	83.8	
	R6	89.6	87.9		86.6	84.9	

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	R8	93.8	91.4	△	94.3	92.4	
	R7	93.3	91.9		93.1	91.9	
	R6	92.6	91.6		93.9	92.3	

⑦ 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	R8	84.3	79.9	△	86.8	80.8	△
	R7	85.9	82.3	△	85.6	79.5	△
	R6	84.5	81.3	△	87.9	82.2	△
総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできている	R8	83.7	79.7	△	88.0	81.7	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	R8	85.9	81.5	△	87.8	84.5	△
	R7	86.7	83.3	△	86.7	84.3	△
	R6	87.8	84.2	△	89.7	86.3	△
学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	R8	81.9	77.3	△	81.2	77.8	△
	R7	83.4	80.8	△	80.9	77.3	△
	R6	85.7	82.5	△	84.3	80.6	△
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	R8	89.6	86.9	△	92.7	91.3	
	R7	89.1	88.0		91.7	91.5	
	R6	88.5	88.2		92.0	91.7	

⑧ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
国語の勉強は得意だ	R8	56.5	60.4	▼	50.7	51.6	
	R7	57.2	61.4	▼	52.0	51.4	
	※	※	※		※	※	
国語の勉強は好きだ	R8	55.0	57.4	▼	57.6	57.2	
	R7	55.8	58.3	▼	57.4	57.9	
	R6	62.2	62.0		68.6	64.3	△
国語の授業の内容はよく分かる	R8	80.5	81.5		77.3	76.8	
	R7	82.5	82.8		78.0	77.0	
	R6	87.6	86.3		86.2	82.7	△

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	R8	91.1	90.4		89.1	88.2	
	R7	90.8	90.4		89.1	88.3	
	R6	93.7	93.2		92.5	90.6	
国語の授業で、先生はあなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれる	R8	78.8	78.1		71.0	73.0	▼
	R7	77.9	78.2		72.1	72.9	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれる	R8	75.1	75.1		70.9	71.8	
	R7	74.6	75.5		71.0	70.2	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていた	R8	83.6	80.7	△	※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていた	R8	82.6	78.3	△	※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていた	R8	※	※		87.1	84.8	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見だしていた	R8	※	※		78.9	76.1	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑨ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
算数・数学の勉強は得意だ	R8	61.5	60.1		50.4	↑ 48.5	
	R7	62.8	60.3	△	51.1	46.0	△
	※	※	※		※	※	
算数・数学の勉強は好きだ	R8	58.7	57.6		58.9	↑ 56.1	△
	R7	60.8	57.9	△	57.4	53.8	△
	R6	63.3	61.0	△	60.7	57.2	△
算数・数学の授業の内容はよく分かる	R8	79.9	77.5	△	↑ 77.5	↑ 74.2	△
	R7	80.2	78.3		75.4	70.3	△
	R6	85.1	82.1	△	78.0	75.7	△
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	R8	92.4	91.0		79.9	76.5	△
	R7	93.0	91.6		78.5	75.2	△
	R6	95.4	94.1		80.7	78.5	△

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている	R8	84.0	83.2		↑ 65.8	↑ 63.0	△
	R7	83.4	83.3		60.8	57.9	△
	※	※	※		※	※	
算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える	R8	84.1	81.7	△	80.9	77.8	△
	R7	83.7	82.3		79.3	76.2	△
	R6	84.1	83.3		79.9	78.1	
算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている	R8	69.0	63.0	△	66.5	60.4	△
	R7	70.9	65.5	△	66.1	58.6	△
	※	※	※		※	※	
図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思う	R8	91.1	88.3	△	※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができる	R8	※	※		71.4	68.4	△
	R7	※	※		70.9	67.1	△
	※	※	※		※	※	

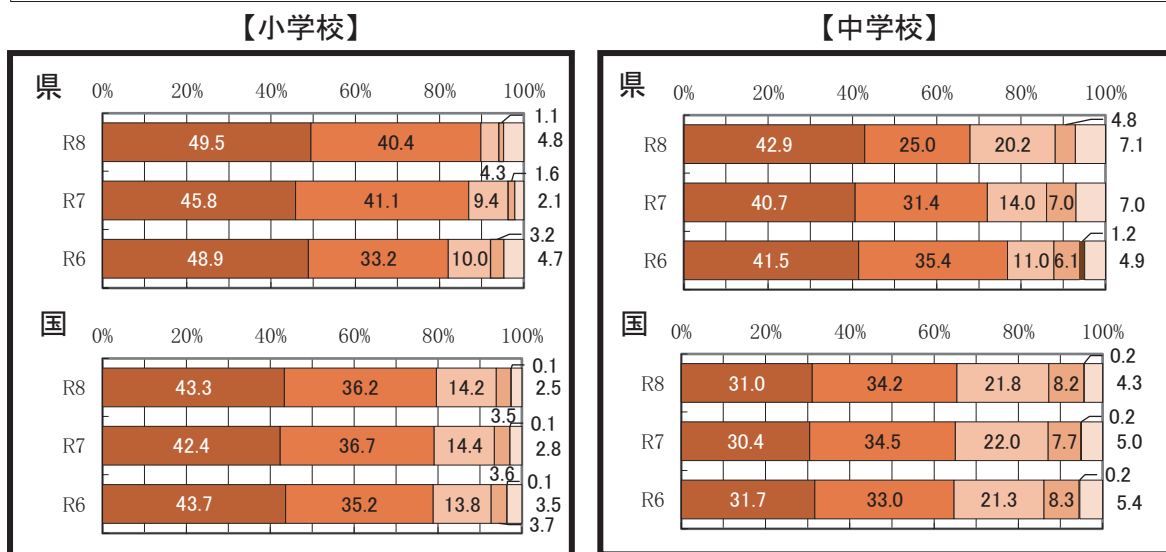
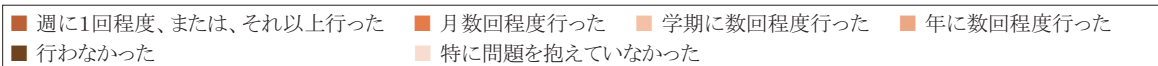
⑩ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)

項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
英語の勉強は得意だ	R8	63.8	59.8	△	40.4	39.5	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
英語の勉強は好きだ	R8	66.5	66.7		52.4	51.2	
	R6	70.5	69.3		※	※	
	R5	70.3	69.3		53.3	51.9	
英語の授業の内容はよく分かる	R8	※	※		65.6	64.2	
	R6	81.0	78.3	△	※	※	
	R5	※	※		64.6	63.9	
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	R8	※	※		88.3	87.6	
	R5	※	※		88.4	↑ 87.5	
	R1	※	※		87.7	85.4	△
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい	R8	44.0	45.4		32.5	34.1	
	R5	51.7	52.5		36.3	36.7	
	R1	※	※		42.8	41.3	
キーボード(画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む)を使って英語を書くことができる	R8	※	※		78.5	76.7	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

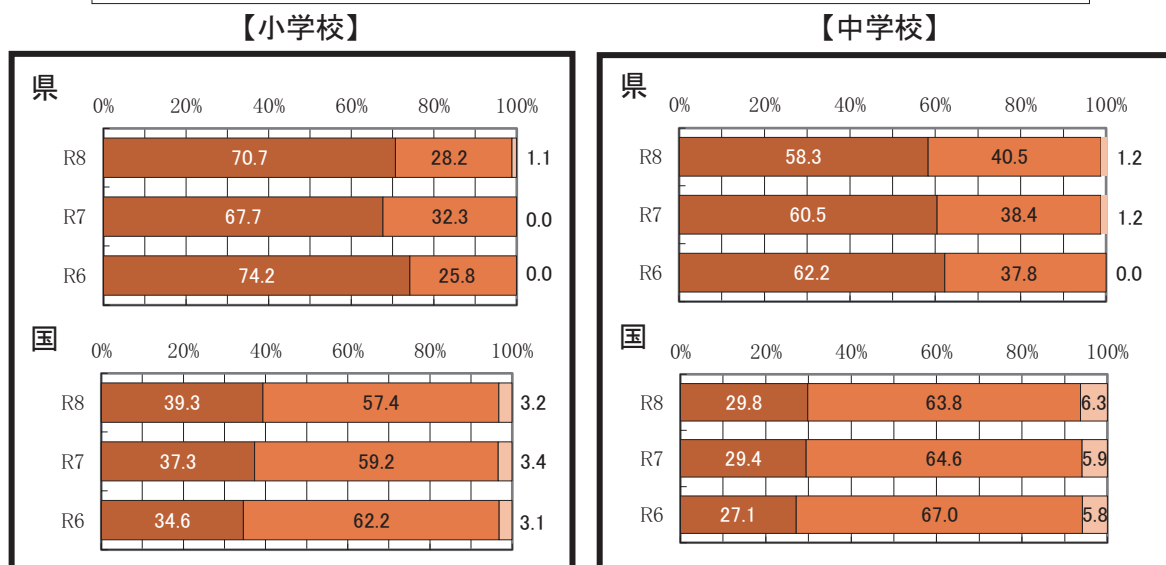
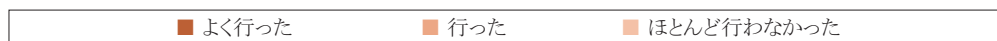
項 目		小学校第 6 学年			中学校第 3 学年		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
授業[やそのための学習]以外で、[日常的に]英語を使う機会が[十分に]あった	R8	↑ 47.5	46.2		↑ 36.6	↑ 36.6	
	R5	44.5	↑ 46.5	▼	29.7	30.0	
	R3	42.8	44.4		36.5	34.8	
家庭学習の課題(宿題)として、週1回程度、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしている	R8	28.1	29.7		23.2	24.5	
	R5	26.3	29.5	▼	21.3	22.9	
	※	※	※		※	※	
聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた	R8	※	※		↑ 90.2	↑ 85.1	△
	R5	※	※		84.2	↑ 80.7	△
	R1	※	※		84.1	77.4	△
聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていた	R8	※	※		↑ 89.6	↑ 82.8	△
	R5	※	※		84.2	↑ 79.3	△
	R1	※	※		84.0	74.6	△
キーボード(画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む)を使って英語を書く活動を行った	R8	※	※		74.4	61.3	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

(2) 学校質問調査

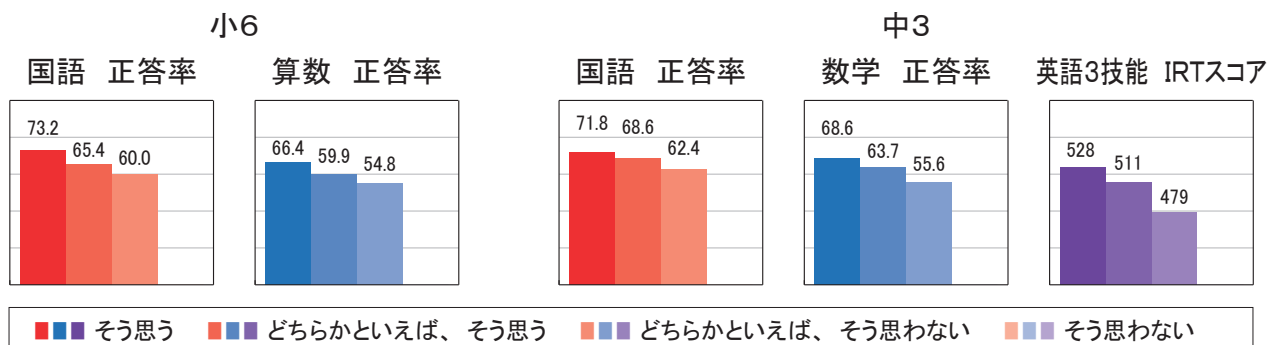
◇ 前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか



◇ 自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



◇ 児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか



※学校質問調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから抜粋

＜表記について＞

△：全国より2ポイント以上高い

↑：前年度（前回）より2ポイント以上高い

▼：全国より2ポイント以上低い

※：未実施

① 生徒指導等

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
熱意をもって勉強している	R8	90.9	88.9	△	84.5	85.1	
	R7	91.7	90.3		↑ 94.2	86.5	△
	R5	91.1	91.1		90.6	88.7	
授業中の私語が少なく、落ち着いている	R8	88.8	83.9	△	90.5	90.7	
	R7	87.5	85.9		↑ 96.5	92.0	△
	R6	88.9	85.5	△	91.5	93.8	▼
礼儀正しい	R8	87.8	85.4	△	92.9	90.4	△
	R5	↑ 91.1	89.2		97.6	94.3	△
	R1	85.2	87.8	▼	※	※	
前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った	R8	86.1	82.0	△	97.7	97.5	
	R7	88.5	86.1	△	97.6	98.4	
	R5	89.6	86.5	△	100.0	98.6	
前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行った	R8	100.0	98.8		100.0	98.3	
	R5	99.5	98.9		100.0	98.3	
	R4	99.5	98.7		100.0	98.1	
近視の予防の一環として、学校の休み時間や放課後などの時間に屋外に出ることや、読書や電子機器の使用などの近い所を見る作業に当たっての配慮事項について指導している	R8	92.5	94.6	▼	65.5	72.2	▼
	R7	93.8	95.3		69.8	74.0	▼
	※	※	※		※	※	
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童生徒が相談したい時に相談できる体制となっている	R8	↑ 97.3	↑ 95.0	△	↑ 100.0	↑ 97.2	△
	R6	↑ 93.7	↑ 90.6	△	↑ 95.1	95.0	
	R4	88.7	88.4		92.9	94.9	▼

② 学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
前年度に、月に数回程度以上、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行った	R8	↑ 89.9	79.5	△	67.9	65.2	△
	R7	↑ 86.9	79.1	△	72.1	64.9	△
	R6	82.1	78.9	△	76.9	64.7	△
前年度に、月に数回程度以上、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行った	R8	94.2	89.4	△	73.8	79.0	▼
	R7	↑ 93.3	88.5	△	79.0	78.0	
	R6	86.9	87.5		81.7	77.3	△
ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れている	R8	100.0	99.6		100.0	99.3	
	R7	100.0	99.0		100.0	98.3	
	R6	100.0	99.1		98.7	98.5	

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している	R8	99.5	97.3	△	97.6	95.9	
	R7	98.4	97.1		96.5	96.0	
	R6	97.9	97.0		96.4	96.5	
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている	R8	↑ 100.0	97.8	△	95.3	93.7	
	R7	97.4	97.5		96.6	92.1	△
	R6	98.4	97.3		98.8	91.8	△
学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしている	R8	99.5	99.3		100.0	99.1	
	R7	99.4	99.6		100.0	99.2	
	※	※	※		※	※	
今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多い	R8	91.0	91.9		95.2	90.7	△
	R7	92.8	91.0		↑ 95.3	89.7	△
	R6	91.1	91.0		89.0	90.6	
教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築している	R8	100.0	99.3		98.8	99.0	
	R7	99.0	99.3		98.9	99.1	
	※	※	※		※	※	
特定の教員が学級担任を務めるのではなく、複数の教員が共同で学級担任を務める体制（いわゆる、チーム担任制、グループ担任制）を実施している	R8	21.8	32.2	▼	16.7	21.5	▼
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
ストレスチェックの結果の活用や研修など、教職員自身の心身の健康状態につき振り返り対処する機会が提供されている	R8	83.0	88.4	▼	89.3	86.1	△
	R7	89.6	↑ 92.7	▼	↑ 91.9	90.9	
	R6	90.5	90.1		87.8	89.5	
児童生徒にとって、学校施設全体として、児童生徒が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思う	R8	86.2	83.3	△	89.3	81.2	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
教職員にとって、学校施設全体として、教職員が働きやすく、居心地のよい建物だと思う	R8	83.5	80.5	△	89.3	78.8	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

③ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている	R8	90.5	88.1	△	92.9	87.2	△
	R7	92.7	89.3	△	93.0	88.2	△
	R6	91.1	88.2	△	91.4	88.4	△
児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができている	R8	80.9	78.9	△	84.5	81.4	△
	R7	79.1	↑ 80.4		↑ 88.4	82.8	△
	R6	77.9	78.3		84.2	82.7	
児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができている	R8	↑ 92.5	87.8	△	90.5	89.4	
	R7	87.0	↑ 89.2	▼	↑ 97.7	90.8	△
	R6	87.4	87.2		92.6	89.7	△

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
授業や学校生活では、児童生徒が、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	R8	96.2	93.2	△	95.2	94.9	
	R7	95.3	94.2		97.6	95.1	△
	R6	96.3	93.6	△	97.5	96.1	
授業では、児童生徒が自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っている	R8	72.3	64.4	△	57.1	56.7	
	R7	↑ 71.4	↑ 64.1	△	↑ 65.2	56.6	△
	R6	66.3	61.2	△	54.9	55.3	
前年度までに、学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫した	R8	88.8	91.2	▼	82.2	87.5	▼
	R7	↑ 89.6	91.0		91.9	87.8	△
	R6	86.3	90.3	▼	91.5	86.3	△
前年度までに、学習指導において、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫した	R8	96.8	95.2		96.4	94.6	
	R7	97.4	95.3	△	96.5	95.0	
	R6	95.8	94.5		100.0	94.0	△
前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた	R8	89.9	89.5		85.7	85.4	
	R7	91.2	89.9		87.2	86.1	
	R6	92.1	89.3	△	90.2	85.1	△
前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした	R8	89.4	88.1		89.3	86.1	△
	R7	92.2	88.6	△	88.4	86.8	
	R6	91.0	87.4	△	90.2	86.6	△
前年度までに、関連する既習事項を振り返り、知識を総合的に関連付ける学習活動を行った	R8	93.6	91.7		92.8	90.6	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた	R8	86.7	87.0		↑ 79.8	79.9	
	R7	89.6	86.9	△	74.4	80.3	▼
	R6	91.1	85.7	△	84.2	78.6	△
前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った	R8	85.1	85.0		↑ 90.5	82.5	△
	R7	↑ 92.7	↑ 85.9	△	↑ 88.3	82.1	△
	R4	85.2	82.6	△	80.0	80.4	
前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を週1回以上程度またはそれ以上行った	R8	↑ 46.8	↑ 48.9	▼	↑ 28.6	↑ 29.7	
	R5	↑ 41.6	↑ 42.9		↑ 21.2	↑ 26.1	▼
	R3	13.4	20.7	▼	9.3	9.3	

④ 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている	R8	95.2	93.3		95.3	91.3	△
	R7	95.3	92.7	△	94.1	91.5	△
	R6	94.7	91.9	△	95.2	90.9	△
総合的な学習の時間において、児童生徒一人一人がICT機器を活用することにより、探究の過程の質が向上することを意識した指導をしている	R8	96.8	95.6		97.6	93.9	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
学級生活をよりよくするために、学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っている	R8	93.6	93.7		91.7	93.5	
	R7	96.9	94.9	△	90.6	94.2	▼
	R6	96.9	94.2	△	89.1	94.0	▼
学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っている	R8	93.6	92.7		89.3	91.9	▼
	R7	96.9	93.8	△	88.4	92.6	▼
	R6	96.3	92.6	△	90.3	92.4	▼
特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている	R8	96.8	96.4		95.2	96.8	
	R7	98.5	96.6		98.9	97.1	
	R6	97.4	96.0		97.5	96.3	

⑤ 学習評価

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組を行った	R8	92.0	↑ 89.3	△	↑ 96.5	92.7	△
	R6	↑ 92.7	↑ 87.1	△	↑ 93.9	91.2	△
	R4	85.2	84.1		91.8	91.6	

⑥ 国語科の指導方法

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
国語の授業で、学習状況に即して児童生徒のよい点や進歩の状況を積極的に伝えた	R8	97.3	96.4		97.7	96.8	
	R7	99.5	95.7	△	96.5	96.8	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、児童生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じた	R8	96.3	95.7		↑ 100.0	96.9	△
	R7	98.0	94.9	△	96.5	96.4	
	※	※	※		※	※	
文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行った	R8	93.1	94.3		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるような指導を行った	R8	97.4	97.1		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるような指導を行った	R8	※	※		96.5	93.9	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができるような指導を行った	R8	※	※		94.0	93.4	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑦ 算数・数学科の指導方法

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行った	R8	93.6	91.8		91.7	89.2	△
	R7	↑ 96.3	91.3	△	94.2	89.6	△
	R6	94.2	92.3		93.9	88.5	△
具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習[観察や操作、実験等の活動]を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする[数量や図形等の性質を見いだす]活動を行った	R8	97.3	95.5		89.3	83.7	△
	R7	↑ 97.9	95.1	△	91.9	85.5	△
	R6	95.8	94.6		90.3	85.7	△
問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、根拠を明確にして児童生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行った	R8	↑ 97.9	95.8	△	↑ 100.0	95.7	△
	R7	95.3	96.3		97.7	95.6	△
	R6	97.9	96.2		96.4	94.8	
授業で、学習上つまずいた児童生徒に対する対応を行った	R8	97.4	97.0		98.8	95.8	△
	R7	96.9	97.0		97.7	95.8	
	※	※	※		※	※	

⑧ 理科の指導方法

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行った	R8	99.5	97.2	△	98.8	97.9	
	R7	97.9	95.7	△	↑ 100.0	97.7	△
	R6	96.9	96.0		96.3	97.0	
観察や実験の結果を整理し考察する[分析し解釈する]指導を行った	R8	99.5	98.5		98.8	97.5	
	R7	↑ 98.4	98.3		100.0	↑ 97.2	△
	R4	95.0	97.1	▼	98.9	94.6	△

⑨ 英語科の指導方法

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会を十分に設けている	R8	69.6	75.2	▼	※	※	
	R6	↑ 75.8	↑ 74.8		※	※	
	R5	73.3	71.8		※	※	
英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える活動を行った	R8	※	※		96.4	94.1	△
	R6	※	※		98.8	94.5	△
	R5	※	※		98.8	94.2	△
英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える活動を行った	R8	※	※		↑ 100.0	96.5	△
	R6	※	※		97.6	96.2	
	R5	※	※		100.0	96.1	△
原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動を行った	R8	※	※		83.3	78.6	△
	R6	※	※		87.8	↑ 79.3	△
	R5	※	※		87.1	76.8	△

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動を行った	R8	※	※		90.5	87.6	△
	R6	※	※		↑ 95.1	88.4	△
	R5	※	※		91.7	86.9	△
自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動を行った	R8	※	※		97.6	91.6	△
	R6	※	※		98.8	92.5	△
	R5	※	※		98.9	91.9	△
聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動を行っている	R8	※	※		↑ 81.0	74.9	△
	R5	※	※		↑ 78.8	↑ 74.2	△
	R1	※	※		64.7	62.4	△
聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動を行っている	R8	※	※		85.7	76.7	△
	R5	※	※		↑ 90.6	↑ 75.4	△
	R1	※	※		72.9	63.5	△
キーボード(画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む)を使って英語を書く活動を行っている	R8	※	※		80.9	67.0	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができる	R8	※	※		↑ 98.8	95.1	△
	R5	※	※		91.7	94.1	▼
	R1	※	※		92.9	93.4	
英語の授業以外にも児童生徒が英語に触れる機会(イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等)を週1回程度設けている	R8	29.2	26.5	△	15.5	↑ 19.1	▼
	R5	45.6	24.8	△	17.6	17.0	
	※	※	※		※	※	
家庭学習の課題(宿題)として、児童生徒にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習を週1回程度行わせている	R8	11.2	17.2	▼	26.3	↑ 38.6	▼
	R5	12.4	16.2	▼	24.8	35.5	▼
	※	※	※		※	※	

⑩ ICTを活用した学習状況

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
児童生徒が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けている	R8	97.9	93.3	△	95.2	89.4	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられている	R8	91.0	88.5	△	91.6	85.2	△
	R7	↑ 94.8	89.7	△	90.7	85.4	△
	R6	91.1	88.9	△	95.2	84.6	△
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でほぼ毎日活用している	R8	88.3	82.8	△	84.5	82.3	△
	R7	90.7	84.8	△	89.5	82.8	△
	※	※	※		※	※	
自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)で、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R8	↑ 96.2	96.4		96.4	93.5	△
	R7	93.7	95.5		97.6	93.5	△
	R6	96.8	97.0		97.6	93.5	△

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R8	82.5	80.2	△	90.5	78.0	△
	R7	87.5	81.2	△	90.8	81.3	△
	R6	92.2	83.6	△	97.6	82.1	△
教職員と児童生徒がやりとりする場面で、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R8	87.2	80.7	△	86.9	78.4	△
	R7	89.6	83.4	△	88.3	80.2	△
	R6	89.6	83.2	△	90.3	81.8	△
児童生徒同士がやりとりする場面で、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R8	82.0	69.7	△	↑ 81.0	62.9	△
	R7	85.4	73.6	△	75.6	66.4	△
	R6	84.2	73.8	△	85.4	69.6	△
児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面で、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R8	77.1	80.2	▼	↑ 75.0	70.7	△
	R7	↑ 87.6	82.1	△	68.6	72.1	▼
	R6	85.3	83.6		84.1	74.0	△
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童生徒が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組を月1回以上実施した	R8	↑ 8.0	6.1		↑ 7.2	6.6	
	R7	4.2	6.0		↑ 4.6	6.9	▼
	R6	7.4	6.4		2.4	5.0	▼
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を持ち帰って利用させている	R8	89.4	88.9		82.2	88.3	▼
	R7	96.9	↑ 89.0	△	87.2	↑ 87.2	
	R6	96.9	86.3	△	85.4	84.4	
ICT機器を活用して各教科等における見方・考え方を働かせるような学習指導を行った	R8	86.2	86.3		85.8	83.3	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
ICT機器やインターネットの利活用について、目的や場面に応じた適切な使い方や、利活用にあたってのルールやマナー(長時間利用防止や情報の取扱いも含む)に関する指導を行った	R8	98.4	98.6		100.0	97.2	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、不登校児童生徒に対する学習活動等の支援に週1回以上活用している	R8	36.2	33.0	△	36.9	51.9	▼
	R7	36.9	36.9		38.4	53.5	▼
	R6	37.8	38.8		43.9	52.9	▼
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、希望する不登校児童生徒に対する授業配信に週1回以上活用している	R8	27.1	22.6	△	31.0	38.3	▼
	R7	31.3	26.0	△	35.0	↑ 40.3	▼
	R6	37.9	28.6	△	34.1	35.6	
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援に週1回以上活用している	R8	63.3	60.1	△	53.6	60.9	▼
	R7	↑ 67.2	65.4		54.6	62.3	▼
	R6	60.0	63.5	▼	63.4	63.0	
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、外国人児童生徒に対する学習指導等の支援に週に1回以上活用している	R8	14.4	25.2	▼	9.6	↑ 27.5	▼
	R7	↑ 14.5	↑ 25.0	▼	↑ 14.0	↑ 24.9	▼
	R6	11.6	20.3	▼	7.3	21.8	▼
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、児童生徒の心身の状況の把握に週に1回以上活用している	R8	50.0	39.5	△	↑ 67.9	42.8	△
	R7	↑ 51.1	↑ 42.0	△	↑ 65.2	↑ 41.1	△
	R6	28.4	31.9	▼	42.6	37.1	△

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、児童生徒に対するオンラインを活用した相談・支援に週に1回以上活用している	R8	16.5	13.1	△	↑ 28.6	17.4	△
	R7	↑ 20.9	↑ 13.7	△	↑ 24.4	17.2	△
	R6	6.3	11.4	▼	10.9	15.4	▼
障害のある児童生徒が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援を実施している	R8	18.1	20.1	▼	9.6	15.9	▼
	R7	↑ 24.5	↑ 19.4	△	↑ 10.4	15.1	▼
	R6	20.5	17.4	△	4.8	14.0	▼

⑪ 特別な配慮が必要な児童生徒への指導

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
発達障害を含む障害のある児童生徒も含めた、多様な児童生徒が通常の学級に在籍していることを前提に、学級全体での指導の工夫を行った	R8	98.9	98.8		97.6	97.9	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
発達障害を含む障害のある児童生徒に対する個に応じた指導内容や指導方法の工夫として、当該児童生徒が学習活動を行う場合に生じる「困難さ」に対する「指導上の工夫の意図」を理解し、個に応じた様々な「手立て」を講じた	R8	97.3	98.0		97.7	96.0	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、人的支援の配慮を行った	R8	↑ 77.7	74.4	△	78.6	73.4	△
	R7	75.0	73.7		79.1	71.6	△
	※	※	※		※	※	
合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、情報の取得、利用及び意思疎通への配慮を行った	R8	55.3	49.6	△	44.0	49.3	▼
	R7	56.7	52.7	△	44.1	50.2	▼
	※	※	※		※	※	
合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、ルール・慣行の柔軟な変更を行った	R8	56.9	54.6	△	↑ 50.0	↑ 58.9	▼
	R7	56.8	59.1	▼	45.3	55.8	▼
	※	※	※		※	※	
合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、学習内容の柔軟な変更や調整を行った	R8	51.6	50.2		48.8	54.7	▼
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
学校では、日本語指導が必要な児童生徒に対して、特別な配慮に基づく指導を行っている	R8	↑ 11.2	↑ 26.3	▼	14.3	↑ 32.1	▼
	R7	8.8	23.4	▼	14.0	29.8	▼
	※	※	※		※	※	

⑫ 小学校教育と中学校教育の連携

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
近隣等の小学校[中学校]と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った	R8	↑ 71.2	67.0	△	79.8	72.0	△
	R7	63.1	65.3	▼	77.9	↑ 71.7	△
	R6	64.8	64.0		78.0	69.0	△

⑬ 家庭や地域との連携等

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
(小学校)職場見学を行っている (中学校)職場体験活動を1日以上行った	R8	26.1	42.0	▼	↑ 82.2	81.2	
	R7	28.6	45.1	▼	↑ 80.2	↑ 79.8	
	R6	28.9	43.2	▼	64.6	76.1	▼
コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、児童生徒が意見を表明することが出来る取組を行った	R8	39.3	46.0	▼	34.5	49.0	▼
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった	R8	84.6	89.1	▼	78.6	84.4	▼
	R7	88.1	↑ 93.3	▼	↑ 76.7	↑ 89.0	▼
	R6	86.8	88.9	▼	74.3	84.1	▼
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、学校教育活動の充実や学校課題の解決だけではなく、地域及び家庭の課題解決や地域活動の担い手育成に貢献していたと思う	R8	86.2	86.2		82.1	81.9	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑭ 家庭学習

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた	R8	99.0	96.6	△	95.2	91.2	△
	R7	98.9	96.6	△	97.7	92.8	△
	R6	99.5	96.1	△	98.7	91.9	△
家庭学習について、児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行った	R8	90.4	91.1		89.3	85.0	△
	R7	↑ 97.4	90.6	△	88.4	85.9	△
	R6	93.7	89.7	△	93.9	84.0	△
学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かした	R8	92.6	90.5	△	88.1	83.2	△
	R7	↑ 95.9	↑ 90.4	△	87.2	84.0	△
	R6	90.0	87.8	△	90.3	82.8	△

⑮ 全国学力・学習状況調査の結果の活用

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
令和7年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した	R8	98.9	96.7	△	98.8	93.6	△
	R7	100.0	96.5	△	98.9	94.0	△
	R6	100.0	96.8	△	100.0	94.1	△
令和7年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	R8	87.8	89.6		82.1	84.2	▼
	R7	87.0	89.0	▼	82.6	83.4	
	R6	89.5	89.5		86.5	83.2	△

令和 8 年度
全国学力・学習状況調査 一結果の概要一

令和 8 年 1 0 月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課
〒920-8575 石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地
TEL.076-225-1827
e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp